

# いわて県民計画第3期アクションプラン 〔行政経営編〕の取組状況 (平成28年度取組実績)

平成28年2月に策定したいわて県民計画第3期アクションプラン〔行政経営編〕の取組状況について、目標及び工程表に係る平成28年度の取組実績を取りまとめ、公表するものです。

平成29年8月  
岩 手 県



# 目次

## 取組状況

1	はじめに	1
2	平成 28 年度末における指標の達成状況（全体）	1
3	今後の進め方	2

### 基本方針 1 いわての未来づくりを支える専門集団への更なる進化

1	平成 28 年度末における指標の達成状況	3
2	取組状況（平成 28 年度取組実績）	3
◆	目標及び工程表	6

### 基本方針 2 多様な主体の連携・協働による公共サービスの提供

1	平成 28 年度末における指標の達成状況	21
2	取組状況（平成 28 年度取組実績）	21
◆	目標及び工程表	23

### 基本方針 3 いわてを支える持続可能な財政構造の構築

1	平成 28 年度末における指標の達成状況	31
2	取組状況（平成 28 年度取組実績）	31
◆	目標及び工程表	33

### 基本方針 4 活力に満ちたいわてを実現する分権型行政システムの確立

1	平成 28 年度末における指標の達成状況	39
2	取組状況（平成 28 年度取組実績）	39
◆	目標及び工程表	41

## 資料編

資料 1	〔行政経営編〕指標一覧表	47
資料 2	行財政運営概況	50
資料 3	県と民間との連携協定締結状況	52



# 取組状況

## 1 はじめに

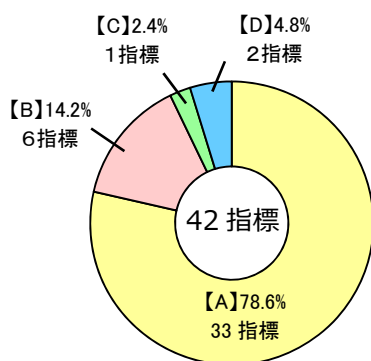
県は、「いわて県民計画長期ビジョン」（平成 21 年度～平成 30 年度）に掲げた「希望郷いわて」の実現を目指して、これまでの取組の成果と課題を踏まえ、かつ、次の長期計画期間を見据え、県民一人ひとりが希望を持つことのできる「希望郷いわて」の実現に向けた取組の総仕上げとして、「第 3 期アクションプラン [政策編・地域編・行政経営編]」（平成 27 年度～平成 30 年度）を策定しました。

このうち、長期ビジョンに掲げた「県政運営の基本姿勢」の具体化については、政策編及び地域編の目標達成に向けて、経営感覚をもって重要な課題に財源や人的資源を配分し効果的・効率的に取り組み成果を挙げる「行政経営」の視点を重視し、従来の「改革編」を [行政経営編] として取りまとめたところです。

県は、東日本大震災津波からの復興とふるさと振興、さらにはその先にある「希望郷いわて」の実現に向けて、政策編及び地域編の成果を高める [行政経営編] の取組を着実に推進していくこととしています。

## 2 平成 28 年度末における指標の達成状況（全体）

推進項目ごとに設定した 42 指標のうち、39 指標（92.8%）が「達成【A】」又は「概ね達成【B】」となりました。



### 【グラフの見方】

- 指標の達成度ごとの構成比と指標数を表示しています。  
※構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。
- 指標の「達成度」は、各年度の目標値に対する達成率（%）に応じて次のとおり判定しています。

目標達成率※1	100%以上	80%以上 100%未満	60%以上 80%未満	60%未満
達成度	達成【A】	概ね達成【B】	やや遅れ【C】	遅れ【D】

基本方針		指標数	達成【A】	概ね達成【B】	やや遅れ【C】	遅れ【D】
1	いわての未来づくりを支える専門集団への更なる進化	20 指標	14 指標 (70.0%)	5 指標 (25.0%)	— (0.0%)	1 指標 (5.0%)
2	多様な主体の連携・協働による公共サービスの提供	9 指標	8 指標 (88.9%)	1 指標 (11.1%)	— (0.0%)	— (0.0%)
3	いわてを支える持続可能な財政構造の構築	10 指標	9 指標 (90.0%)	— (0.0%)	— (0.0%)	1 指標 (10.0%)
4	活力に満ちたいわてを実現する分権型行政システムの確立	3 指標	2 指標 (66.7%)	— (0.0%)	1 指標 (33.3%)	— (0.0%)
<b>全 体</b>		42 指標	33 指標 (78.6%)	6 指標 (14.2%)	1 指標 (2.4%)	2 指標 (4.8%)

### ※1 目標達成率（%）の計算方法

- ・プラス指標 (H26 現状値から数値を上げる目標) :  $(H28 \text{ 実績値} - H26 \text{ 現状値}) / (H28 \text{ 目標値} - H26 \text{ 現状値}) \times 100$
- ・マイナス指標 (H26 現状値から数値を下げる目標) :  $(H26 \text{ 現状値} - H28 \text{ 実績値}) / (H26 \text{ 現状値} - H28 \text{ 目標値}) \times 100$
- ・単年度指標等 (年度単位で完結する取組に係る指標、H26 現状値を維持する目標等) :  $(H28 \text{ 実績値}) / (H28 \text{ 目標値}) \times 100$

### **3 今後の進め方**

今後、取組状況や環境変化等を踏まえて取組内容の柔軟な見直しを行い、計画の着実な推進を図るとともに、新たな課題に迅速かつ的確に対応していきます。

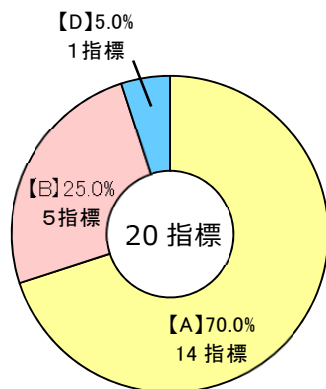
## 基本方針1 いわての未来づくりを支える専門集団への更なる進化

県は、東日本大震災津波からの復興とふるさと振興、さらにはその先にある「希望郷いわて」の実現に向けて、地域社会を構成するあらゆる主体が共に支え合いながら総力を結集していく「地域経営」の推進者として、まずは県自身が県民の期待と信頼に応えるような成果を挙げていく必要があります。

そのため、組織改編、人材確保、職員育成、職場環境の整備等により、復興やふるさと振興等の重要な地域課題に取り組む体制の充実を図るとともに、県民の期待と信頼に応える行政サービスの提供に取り組みます。

### 1 平成28年度末における指標の達成状況

推進項目ごとに設定した20指標のうち、19指標（95.0%）が「達成【A】」又は「概ね達成【B】」となりました。



#### 【グラフの見方】

- 指標の達成度ごとの構成比と指標数を表示しています。  
※構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。
- 指標の「達成度」は、各年度の目標値に対する達成率（%）に応じて次のとおり判定しています。

目標達成率	100%以上	80%以上 100%未満	60%以上 80%未満	60%未満
達成度	達成【A】	概ね達成【B】	やや遅れ【C】	遅れ【D】

- ・ 「男女いずれか一方の委員の数が委員総数の40%未満にならない審議会等の割合」は、改選期において、一部の審議会でも女性登用が進むなど改善が見られたものの、委員の選任分野の専門職に女性が少ないなどの理由から、計画目標値には届かず達成度は【D】となりました。

### 2 取組状況（平成28年度取組実績）

#### (1) 復興や地域課題に取り組む体制の充実

- ・ 復興推進のため必要な組織・職員体制を維持するとともに、台風第10号災害に係る復旧復興事業の推進体制を整備しました。

また、知事部局においては文化・スポーツ関連事務を一元的に所管する「文化スポーツ部」の設置、国際関連事務の推進体制強化を図る「国際室」の設置及び会計事務の執行体制強化を図る「審査指導監」の設置等の、教育委員会事務局においては学校教育の課題解決により注力して取り組むための「学校調整課」及び「学校教育課」の設置等の組織改編を行いました。

- ・ 復興や地域課題対応を担う人材を確保するため、専門的知識や経験を有し即戦力となり得る人材（専門職、再任用職員、任期付職員、他県等からの応援派遣職員等）を

確保しました。

- ・ 平成 27 年度に創設した、先輩職員が後輩職員に対して個別支援活動を行う「メンター制度」について、対象を全公所に拡大するなど、取組の強化を図りました。

また、女性職員の更なる活躍推進を図る女性職員向け研修の充実を図るとともに、新採用職員研修に障がいと理由とした差別の禁止等に係る講義を盛り込むなど、職員育成の充実に取り組みました。

- ・ 職場環境の整備について、ワークライフバランスや子育てしやすい職場づくりについて周知啓発し行動を促すとともに、職員の子育てを支援するための休暇制度の見直しや時差通勤制度の拡充、職員のメンタルヘルスケア、復興業務に従事する職員等の住環境整備、教職員の負担軽減などの取組を進めました。

## (2) 県民の期待と信頼に応える行政サービスの提供

- ・ 「岩手県職員憲章」に基づく行動について、「G・I グランプリ<sup>※2</sup>」や「スマイル 130 プロジェクト<sup>※3</sup>」等の取組を通じて全庁的な展開を図りました。

- ・ いわて県民計画の実効性を高め、その着実な推進を図るため、予算と連動させながら政策評価・事務事業評価を実施しました。

また、若手職員が「若者アクションパートナー」として、活躍する若者をつながりを作りながら若者活躍に関する情報を収集・発信する取組を通じ、若者の更なる活躍に資する情報を組織内で共有したほか、附属機関等における女性委員及び 50 歳未満の委員の割合向上等の取組により、政策形成機能の強化に努めました。

- ・ 県民サービスの利便性の向上に向けて、電子申請システムの利活用促進、統合型地理情報システムの更新による機能改善、モバイルワーク<sup>※4</sup>に係る実証実験、マイナンバー制度の適切な導入に向けたシステム構築・専用端末整備などに取り組みました。

- ・ 公営企業<sup>※5</sup>のうち、医療局においては、「岩手県立病院等の経営計画《2014-2018》」に基づき、圏域の医療機関等との役割分担と連携の取組や、医師不足の解消と医師の負担軽減に向けた取組を進めました。企業局においては、「第 5 次中期経営計画」に基づき、電力及び工業用水の安定供給に向けた取組や発電所の新規開発等の取組を進めました。

- ・ 行政運営の透明性の向上を図るため、行政文書開示請求よりも簡易に情報が得られる自主的公表の対象に「理容美容許可施設一覧」を追加するとともに、地方公会計<sup>※6</sup>に基づく財務諸表の公表や流域下水道事業の地方公営企業会計への移行に向けた準

※2 G・I グランプリ 個人又は組織等において日々の業務の中で工夫して取り組んだ事例等を募集し、全庁で共有する取組。

※3 スマイル 130 プロジェクト 「130 万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔（県外、世界に）届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組む職員の気持ちを盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、岩手のあるべき姿に追いつく復興を推進する取組。

※4 モバイルワーク タブレット端末など、庁舎外に持ち運び可能な情報通信機器を活用し、現場で付加価値の高い県民サービスを行う取組。

※5 公営企業 水道事業、交通事業、病院事業、下水道事業など地域住民の生活や地域の発展に不可欠なサービスを提供するもので、企業の能率的経営を確保し、経済性を発揮するよう、地方公共団体内部において特別の経営組織を設け、経営するもの。（本県においては、病院、発電、工業用水道が該当）

※6 地方公会計 発主主義会計の複式簿記の考え方の導入を図り、「貸借対照表」、「行政コスト計算書」、「資金収支計算書」、「純資産変動計算書」を整備し、資産・債務管理、財務情報のわかりやすい開示、政策評価・予算編成・決算分析との関係づけ等に活用しようとするもの。



## 基本方針1 いわての未来づくりを支える専門集団への更なる進化

備を進めました。

- ・ 建設工事の品質確保のための取組として、低入札価格調査制度における調査基準価格の算入率の引上げなど、同制度の適切な運用や入札不調対策の推進等を通じて公共調達最適化を図りました。

また、県契約に関する基本理念等を定めた「県が締結する契約に関する条例」について、基本理念の実現を図る取組を実施するとともに、平成 29 年度以降の取組内容を見直して公表しました。

- ・ 適正な事務処理を確保するため、相談対応、研修、自己点検、内部考査等の取組を推進するとともに、新たに配置した会計指導監による会計研修等を実施し、職員の資質向上の充実を図りました。
- ・ 監査委員による監査について、全監査対象機関を対象として予備監査を実施するとともに、監査機能の強化を図るため、専門研修の受講による専門性確保や包括外部監査人との連携を進めました。
- ・ 台風第 10 号災害を踏まえ、新たな風水害に対応した防災体制の整備に向けた取組を進めるとともに、地域防災計画を修正するなど、危機管理体制の強化を図りました。

また、情報セキュリティを強化するため、県と市町村のインターネット接続ポイントを集約して高度なセキュリティ監視を行う「岩手県情報セキュリティクラウド」を構築し、平成 29 年 4 月からの運用開始に向けた移行作業と運営体制の整備に取り組みました。

◆ 目標及び工程表

【記載内容】

- ① 推進項目ごとに指標を定め、毎年度の目標値を設定しており、実績については平成28年度実績まで記載しています。
- ② 指標の「達成度」は、各年度の目標値に対する達成率(%)に応じて次のとおり判定しています。  
「達成【A】」:100%以上、「概ね達成【B】」:80%以上100%未満、「やや遅れ【C】」:60%以上80%未満、「遅れ【D】」:60%未満
- ③ 「取組内容」欄に記載した取組の工程について、各年度欄に四角囲みで計画を、その下に文章で取組実績を記載しています。  
複数年にわたり継続する取組については、矢印で取組期間を示しています。
- ④ 今後、取組状況や環境変化等を踏まえて取組内容の柔軟な見直しを行い、計画の着実な推進を図るとともに、新たな課題に迅速かつ的確に対応していきます。

(1) 復興や地域課題に取り組む体制の充実

① 復興や地域課題対応を重点とする組織体制の整備

指標	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)	
		(H27)	(H28)	(H29)		
新規需要等に対応する庁内再配置数(人/年)	目標	7	16	53	2	20
	実績		21	102		
	達成度		A	A		

取組内容	~H26	H27	H28	H29	H30
・組織改編	復興やふるさと振興等の重要な地域課題対応に重点を置いた組織の整備				
・復興業務に関する定数措置	本格復興期間における復興推進のため必要十分な定数の措置	復興業務職員数(H28.4月) 知事部局:453人 教育委員会事務局等:23人	復興業務職員数(H29.4月) 知事部局:391人 教育委員会事務局等:20人	復興の更なる展開に向けて必要十分な定数の措置	
・復興業務以外の業務に関する定数管理	平成23年4月1日時点の職員定数の維持を基本とし、新規需要等にはスクラップアンドビルドで対応				
		復興業務以外の職員数(H28.4月) 知事部局:3,987人	復興業務以外の職員数(H29.4月) 知事部局:4,047人		

② 復興や地域課題対応を担う人材の確保

指標	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)	
		(H27)	(H28)	(H29)		
採用予定数の充足率(%)	目標	84.9	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績		79.2	90.3		
	達成度		C	B		

基本方針1 いわての未来づくりを支える専門集団への更なる進化

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・新採用の拡大		<p>特別募集の実施</p> <p>特別募集による採用数 H27.7.1付け：11人 H27.8.1付け：1人</p>			
・専門的知識を有する人材の確保	1級建築士資格保有者、医師、獣医師等の採用、任期を満了した任期付職員の任期の定めのない職員への採用				
		H28.4月：建築3人 H28.4月：獣医師1人 H28.4月：薬剤師2人	H28.9月：獣医師1人 H29.4月：建築1人 H29.4月：獣医師2人 H29.4月：薬剤師1人 H29.4月：任期付経験者9人		
	児童生徒等の心のサポートを行うため、県外の臨床心理士をカウンセラー（非常勤職員）として任用				
		任用数 H27年度：13人 H28.4月：13人	任用数見込み H28年度：13人 H29.4月：13人		
・退職した職員の再雇用	フルタイムを基本とする再任用職員の積極的な任用				
		再任用職員数 H28.4月：121人、うちフルタイム110人（うち新規任用39人）	再任用職員 H29.4月：129人、うちフルタイム119人（うち新規任用31人）		
・任期付職員の採用	復興業務に対応する任期付職員の採用				
		任期付職員任用数 H28任用（繰上採用含む。）：70人 【内訳】 ・一般的任期付（県配置）：49人（事務28人、総合土木21人） ・一般的任期付（市町村派遣）：21人（事務13人、総合土木6人、建築2人）	任期付職員任用数 H29任用：64人 【内訳】 ・一般的任期付（県配置）：48人（事務25人、総合土木23人） ・一般的任期付（市町村派遣）：16人（事務7人、総合土木7人、保健師2人）		
・全国への職員派遣要請	全国の都道府県等に対する職員派遣要請				
		他都道府県からの応援派遣決定数 H27年度：172人 H28.4月：164人	・震災復興に係る他都道府県からの応援派遣決定数 H28年度：164人 H29.4月：129人 ・平成28年台風第10号災害に係る他都道府県からの応援派遣決定数 H29.4月：2人		

③ 職員育成の充実

指標	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
		(H27)	(H28)	(H29)	
管理監督者（主査以上） に占める女性割合（%）	目標	14.1	15.9	17.1	18.3
	実績		15.4	17.0	
	達成度		B	B	

基本方針1 いわての未来づくりを支える専門集団への更なる進化

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・意欲を持って能力向上に取り組む職員の支援		<p>自己啓発支援制度、自主企画研修制度の創設・運用</p> <p>【自己啓発支援】 H27.6月制度創設、 H27.7月運用開始、 支援人数：11人（通 信講座受講：6人、 資格取得：4人、大 学院修学：1人）</p> <p>【自主企画研修】 H27.7月運用再開、 派遣数：4個人1グ ループ</p>	<p>【自己啓発支援】 支援人数：15人（通 信講座受講：4人、 資格取得：9人、大 学院修学：2人）</p> <p>【自主企画研修】 派遣数：5個人1グ ループ</p>		
	・若手と女性職員の活躍推進		<p>女性活躍推 進法に基づ く特定事業 主行動計画 の策定</p> <p>「女性活躍推進のた めの特定事業主行動 計画」策定（H28.3 月）</p>	<p>女性職員の活躍を支援する取組の実施、公表</p> <p>・女性の職業選択に 資する情報の公表 ・育児支援計画シー トによる個別面談の 実施</p>	
・連携・協働による合意形成・ 政策形成能力の強化			<p>女性職員を対象としたリーダー研修、キャリアデザイン研修等の実施</p> <p>・女性職員リーダー 研修（H27.9.7）： 39人 ・女性職員キャリア デザイン研修 （H27.11.9～10）： 40人</p>	<p>・女性職員リーダー 研修（H28.5.27、 H28.6.13）：78人 ・女性職員キャリア デザイン研修 （H28.7.7～8）：32 人</p>	
	・障がいのある人への対応の質 の向上		<p>多様な主体との連携・協働に向けた合意形成・政策形成能力を養成する研修の実施</p> <p>地域経営推進研修 （市町村合同研修） 開催（2回、 H27.7月～8月） 受講者：62人（市町 村19人、県43人）</p>	<p>メンター制度の実施</p> <p>メンタリング実施 （H27.7月～H28.3 月）：12組、25人</p> <p>メンタリング実施 （H28.6月～H29.3 月）：30組、60人</p> <p>地域経営推進研修 （市町村合同研修） 開催（2回、 H28.6月、8月） 受講者：62人（市町 村27人、県35人）</p>	
		<p>障がいを理 由とした差 別の禁止等 に係る職員 対応要領の 策定</p> <p>対応要領策定 （H28.2月）</p>	<p>障がいを理由とした差別の禁止等に係る実践的な研修の実施</p> <p>新採用職員研修での 講義（H28.6.16）： 受講者242人</p>		

④ 職場環境の整備

指標	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
		(H27)	(H28)	(H29)	
男性職員の育児休業等取 得率（%）	目標	93.8	93.8	100.0	100.0
	実績	93.8	93.6	91.2	
	達成度		B	B	
各種メンタルヘルス研修 会の開催回数（回/年）	目標	8	8	8	8
	実績	8	8	9	
	達成度		A	A	

基本方針1 いわての未来づくりを支える専門集団への更なる進化

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30	
・ワークライフバランスの推進	業務見直しの推進に係る通知発出、「か・えるの日運動」の取組					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退庁日（か・えるの日）の通知発出：1回</li> <li>・庁内イントラネット、放送での周知：3回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退庁日（か・えるの日）の通知発出：1回</li> <li>・庁内イントラネット、放送での周知：12回</li> </ul>			
・次世代育成支援	特定事業主行動計画の検証・見直し、次期計画策定	管理職を対象とした特定事業主行動計画の周知				
		新任担当課長等研修での周知：3回	新任担当課長等研修での周知：3回			
		子育てしやすい職場づくりに向けた職員の行動指針に関する周知・意識啓発				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修での周知：3回</li> <li>・庁内イントラネットでの周知：2回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修での周知：3回</li> <li>・庁内イントラネットでの周知：2回</li> </ul>	育児参加計画書による職員と所属長との面談の実施		
				育児支援計画シートによる個別面談の実施		
eラーニングや通信講座受講支援等による育児休業中の職員の研修機会の確保						
	eラーニング実施（6講座、受講者数延べ1,034人、うち育児休業中5人）	eラーニング実施（6講座、受講者数延べ873人、うち育児休業中1人）				
・メンタルヘルスケアの推進	仕事と子育ての両立しやすい多様な働き方を支援する制度の導入を検討					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国や他団体の取組事例分析</li> <li>・国のフレックスタイム制度の見直し内容分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国や他団体の取組事例分析</li> <li>・時差通勤制度の拡充</li> <li>・在宅勤務・テレワークの検討</li> </ul>				
	メンタルヘルスケアに関する意識啓発の充実・強化					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知事部局等】メンタルヘルスセミナー（管理職向け、一般職向け）：8回、459人</li> <li>【教育委員会】・教職員のためのメンタルヘルスセミナー：3回、78人</li> <li>・管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー：1回、149人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知事部局等】メンタルヘルスセミナー（管理職向け、一般職向け）：9回、272人</li> <li>【教育委員会】・教職員のためのメンタルヘルスセミナー：3回、138人</li> <li>・管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー：1回、125人</li> </ul>				
	メンタルヘルス・セルフケア事業の実施					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知事部局等】全職員に対するストレスチェックを実施</li> <li>【教育委員会】定期健康診断時にメンタルヘルスチェックを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知事部局等】全職員に対するストレスチェックを実施</li> <li>【教育委員会】定期健康診断時にストレスチェックを実施</li> </ul>				
日常の健康相談体制の強化						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知事部局等】・電話法律相談：12件</li> <li>・健康相談：随時実施</li> <li>【教育委員会】・巡回健康相談：1,189件</li> <li>・電話・メール相談：424件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知事部局等】・電話法律相談：12件</li> <li>・健康相談：随時実施</li> <li>【教育委員会】・巡回健康相談：1,072件</li> <li>・電話・メール相談：497件</li> </ul>				

基本方針1 いわての未来づくりを支える専門集団への更なる進化

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・メンタルヘルスケアの推進 (続き)	● 早期発見・早期治療に向けた組織体制の整備等				
		健康管理スタッフと管理監督者、職員の連絡を強化(心のケアネットワーク)	健康管理スタッフと管理監督者、職員の連絡を強化(心のケアネットワーク)		
	● 精神科嘱託医による職場訪問及び健康相談				
		【知事部局等】 健康相談：21回、95人 【教育委員会】 スーパーバイザーによるメンタルヘルス相談等事業による個別相談：延べ27件	【知事部局等】 健康相談：21回、32人 【教育委員会】 スーパーバイザーによるメンタルヘルス相談等事業による個別相談：延べ28件		
	● 職場復帰・再発予防の支援				
		【知事部局等】 ・職場復帰訓練：9人 【教育委員会】 ・職場復帰訓練：36人 ・復職支援相談：57件 ・管理監督者メンタルヘルス特別セミナー：1回、109人	【知事部局等】 ・職場復帰訓練：5人 【教育委員会】 ・職場復帰訓練：56人 ・復職支援相談：103件 ・管理監督者メンタルヘルス特別セミナー：1回、117人		
・復興業務に従事する職員等の住環境の整備	● 既設公舎の設備更新など住環境整備の継続実施				
		・リース方式による仮設公舎の整備：12戸(宮古地区12戸) ・既存公舎の住環境整備：44戸(釜石、宮古地区公舎給湯設備更新26戸、大船渡地区公舎トイレ改修18戸) ・応急仮設住宅の利用調整・確保：162戸(釜石地区58戸、宮古地区95戸、大船渡地区9戸)	・既存公舎の住環境整備(畳表替)：120戸(釜石地区：27戸、宮古地区56戸、大船渡地区37戸) ・応急仮設住宅の利用調整・確保：144戸(釜石地区57戸、宮古地区79戸、大船渡地区8戸) ・応急仮設住宅の住環境整備(内裝修繕)：6戸(宮古地区)		
・教職員の負担軽減	● 教職員の負担軽減策の検討・実施				
		・教職員の多忙解消のための検討会開催：5回 ・学校の労働安全衛生体制の整備に向けた働きかけの実施	・教職員の多忙解消のための検討会開催：7回 ・学校の労働安全衛生体制の整備に向けた働きかけの実施		

(2) 県民の期待と信頼に応える行政サービスの提供

① 岩手県職員憲章の実践

指標	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
		(H27)	(H28)	(H29)	
G・I グランプリへの新規取組登録件数(件/年)	目標	78	80	80	80
	実績		90	108	
	達成度		A	A	

基本方針1 いわたの未来づくりを支える専門集団への更なる進化

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・行政品質向上運動の推進	新採用研修等の機会を活用した職員の意識啓発を推進				
		新採用研修で行政品質向上運動を説明	新採用研修で行政品質向上運動を説明		
	業務方針の策定				
		各所属で、業務方針に職員憲章の具現化に向けた取組を記載し、業務への反映を推進	各所属で、業務方針に職員憲章の具現化に向けた取組を記載し、業務への反映を推進		
	G・Iグランプリの開催				
		G・Iグランプリ開催（新規取組応募件数90件）	G・Iグランプリ開催（新規取組応募件数108件）		
	チーム力向上研修、マネジメント向上セミナーの実施	行政品質向上セミナー（仮称）の実施			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム力向上研修：1回、20人</li> <li>・管理監督者のマネジメント向上セミナー：1回、36人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政品質向上セミナーに代えて2件の特別研修を開催</li> <li>・特別講演「実効性のあるコンプライアンスの取組」：1回、243人</li> <li>・女性管理監督者向けマネジメント力向上研修：1回、20人</li> </ul>		
			職場マネジメントアンケート（仮称）の実施		
			アンケート内容の検討		
・スマイル130プロジェクトの推進	スマイル130プロジェクトにおける職員の自発的取組の推進				
		継続取組件数：38件	継続取組件数：30件		

② 政策形成機能の強化

指標	現状値(H26)	年度目標値			計画目標値(H30)
		(H27)	(H28)	(H29)	
いわて県民計画アクションプランに掲げる「具体的推進方策指標」の達成度Dに關して対応した割合(%)	目標	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績		100.0	100.0	
	達成度		A	A	
男女いずれか一方の委員の数が委員総数の40%未満にならない審議会等の割合(%)	目標	60.3	63.5	66.8	73.4
	実績		57.5	58.7	
	達成度		D	D	

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・政策評価・事務事業評価の実施	いわて県民計画アクションプラン「政策編」の7つの政策、42の政策項目の政策評価の実施				
		政策評価（7つの政策、42の政策項目）実施（H27.11月）	政策評価（7つの政策、42の政策項目）実施（H28.12月）		
	事務事業評価の実施				
		事務事業評価（732事業）実施（H27.11月）	事務事業評価（739事業）実施（H28.12月）		
・政策評価と予算との連動	政策評価・事務事業評価の予算との連動				
		政策評価等の実施状況報告書を予算編成前（H27.11月）に公表	政策評価等の実施状況報告書を予算編成前（H28.12月）に公表		

基本方針1 いわての未来づくりを支える専門集団への更なる進化

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・若手職員の発想を施策に活かす取組の推進  ・附属機関等における女性委員及び50歳未満の委員の割合向上	若手職員の発想を施策に活かす取組の推進				
		「庁内若手職員による若者施策研究会（若手ゼミ）」実施	活躍する若者とのつながりを作りながら若者活躍に関する情報収集・発信に取り組む「若者アクションパートナー」の取組実施		
「審議会等の設置・運営に関する指針」の周知徹底					
		審議会等状況調査実施（設置数：164機関、委員数：2,069人）	審議会等設置状況調査実施（設置数：172機関、委員数：1,993人）		
		審議会等一斉点検の実施	点検結果のフォロー調査の実施		審議会等一斉点検の実施
		審議会等一斉点検実施 ・委員の男女どちらかが40%未満：79機関（48.2%） ・50歳未満の委員が25%未満：80機関（48.8%）	フォロー調査実施 ・委員の男女どちらかが40%未満：82機関（47.7%） ・50歳未満の委員が25%未満：85機関（49.4%）		

③ 県民サービスの利便性の向上

指標	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
		(H27)	(H28)	(H29)	
県税を納税することができるコンビニエンスストアのチェーン数（チェーン）	目標	5	5	12	12
	実績	5	5		
	達成度		A	A	
電子申請利用件数（件/年）	目標	9,300	11,000	13,200	15,800
	実績	7,803	7,924	9,670	
	達成度		B	B	

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・コンビニエンスストアでの県税（自動車税等）の納付推進	運用の継続				
		県税を納付できる店舗チェーン数：5チェーン	県税を納付できる店舗チェーン数：5チェーン		運用の継続（納付場所の拡大）
・県税の口座振替納付の利用促進	周知広報等による口座振替納付の利用促進				
		自動車税口座振替利用率（件数ベース）：4.0%	自動車税口座振替利用率（件数ベース）：4.0%		
・eLTAx（エルタックス）の利用促進	周知広報等によるeLTAxの利用促進				
		利用実績：21,404件（利用率72.0%）	利用実績：23,172件（利用率77.2%）		
・電子申請システムの更新、利用促進	システム更新検討				
		システム更新（H27.10月運用開始）	システム利用手続の拡大、利活用促進		
			システム操作研修の実施：2回		



基本方針1 いわての未来づくりを支える専門集団への更なる進化

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・統合型地理情報システムの更新、利用促進	システム更新検討	システム更新検討 ・システム更新検討 ・次期システムの入札公告	システム更新 システム更新 (H28.9月運用開始)	提供データの拡充、利活用促進	
・県民向け情報公開用Webデータベースの更新		構成及び更新方法の検討 構成及び更新方法の検討	システム改修実施 (OS更新、脆弱性対策)	システム更新	利用開始、活用
・モバイルワークの導入	導入検討、調査	モバイルワーク実証実験の実施、効果検証 ・モバイルワーク実験環境構築 ・実証実験の実施	実証実験の継続実施 実施：17公所 ・導入効果検証		本格導入
・マイナンバー制度の適切な導入	システム検討	個人番号利用開始 ・市町村、事業者説明会の実施 ・市町村への助言	個人番号利用開始 ・市町村説明会の実施 ・市町村への助言		
		システム構築 ・団体内統合利用番号連携サーバー構築 ・各業務システム改修	システム構築 ・総合運用テストの実施 ・専用端末導入等のセキュリティ強化	情報連携	

④ 公営企業のサービス品質向上

【医療局】

指標	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)	
		(H27)	(H28)	(H29)		
紹介率 (%) (中央及び基幹病院)	目標	51.8	50.0	51.0	51.0	52.0
	実績		52.1	55.0		
	達成度		A	A		
逆紹介率 (%) (中央及び基幹病院)	目標	57.8	39.0	40.0	40.0	41.0
	実績		59.4	61.7		
	達成度		A	A		
新規招聘医師数 (人/年)	目標	9	10	10	10	10
	実績		6	9		
	達成度		C	B		

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
●役割分担と地域連携の推進 ・地域医療支援病院の承認取得	中央、中部、胆沢及び磐井病院承認取得済み	H28年度宮古病院承認取得に向けた取組 地域医療支援病院及び承認取得準備病院との情報交換会の開催 (H27.12月)	取得済病院の承認維持のための取組 宮古病院が地域医療支援病院の承認を取得 (H28.10月)		
・地域医療福祉連携室の設置	地域医療福祉連携室の設置による地域医療機関との医療連携強化	地域医療福祉連携室 (全一般病院に設置済) による地域医療連携強化の取組実施 (医療機関向け広報紙発行、住民向け講座開催等)	地域医療福祉連携室 (全一般病院に設置済) による地域医療連携強化の取組実施 (医療機関向け広報紙発行、住民向け講座開催等)		

基本方針1 いわての未来づくりを支える専門集団への更なる進化

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> <li>退院調整看護師の配置</li> </ul>	退院調整看護師の配置による退院在宅支援の更なる充実				
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域医療連携システムへの参加</li> </ul>	地域（医師会等）で運営しているICTを活用した地域医療連携システムへの参加				
<ul style="list-style-type: none"> <li>●医師不足の解消と医師の負担軽減に向けた取組の推進</li> <li>個別訪問活動</li> </ul>	関係大学、県出身医師、全国の大学医学部などへの個別訪問				
<ul style="list-style-type: none"> <li>無料職業紹介事業</li> </ul>	他の自治体医療機関へのあっせんも含めた職業紹介				
<ul style="list-style-type: none"> <li>医師の任期付職員採用制度の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>招聘数：8人（県立病院6人、市町村立病院等2人）</li> <li>招聘数：9人（県立病院うち非常勤1人）</li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>育児短時間勤務女性医師（マドクター）の募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>即戦力医師として65歳超の医師を任用</li> <li>医師の任期付採用制度による採用開始 H27.4月：10人 H28.4月：4人</li> <li>医師の任期付採用制度による随時採用 H28.10月：1人 H29.4月：1人</li> <li>女性医師の再就業の機会の創出</li> <li>育児短時間勤務女性医師の募集開始（H27.12月）</li> <li>育児短時間勤務女性医師の随時募集</li> </ul>				

【企業局】

指標	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
		(H27)	(H28)	(H29)	
【電気事業】 供給電力量 (MWh/年)	目標	557,771	530,927	575,488	594,631
	実績	569,635	542,537		
	達成度	A	A		
【工業用水道事業】 基本料金算定水量 (千立方m/年)	目標	14,051	14,304	14,304	15,764
	実績	14,250	14,304		
	達成度	A	A		

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> <li>●電力の安定供給に向けた取組</li> <li>計画的な更新・改良・修繕工事等の実施</li> </ul>	修繕改良10ヵ年計画の更新とそれに基づく修繕改良工事等の実施				
<ul style="list-style-type: none"> <li>長寿命化の計画的な推進</li> </ul>	電力土木施設の長寿命化の推進				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>工事施工件数：36件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事施工件数：61件</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>発電施設等の耐震化</li> <li>耐震診断・設計実施：1施設</li> <li>耐震化率：60%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発電施設等の耐震化</li> <li>耐震診断：5施設</li> <li>耐震化率：70%</li> </ul>		

基本方針1 いわての未来づくりを支える専門集団への更なる進化

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
●発電所の新規開発の推進 ・新規水力発電所の建設			<ul style="list-style-type: none"> <li>築川発電所の建設</li> <li>・水利権許可（河川法）</li> <li>・工事計画届出（電気事業法）</li> <li>・工事発注：1件</li> </ul>		
・新規風力発電所の建設		<ul style="list-style-type: none"> <li>高森高原風力発電所の建設</li> <li>・工事計画届出（電気事業法）</li> <li>・工事発注：2件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事発注4件（建屋建築（2件）、送電設備建設、送電線路推進工事）</li> </ul>		
●工業用水の安定供給に向けた取組 ・計画的な更新・改良・修繕工事等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>修繕改良10ヵ年計画の更新とそれに基づく修繕改良工事等の実施</li> </ul>				
・配管の老朽化対策と耐震化の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>工事施工件数：15件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事施工件数：13件</li> </ul>		
●地域貢献の推進 ・クリーンエネルギーの導入支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な工事の実施と耐震化の推進</li> </ul>				
・環境保全活動等の取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工延長：909m</li> <li>・耐震化率：57%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工延長：594m</li> <li>・耐震化率：59%</li> </ul>		
●組織力の向上 ・人材の育成・確保、技術の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>「環境保全・クリーンエネルギー導入促進積立金」等を活用した地域貢献の推進</li> </ul>				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンエネルギー導入支援事業：7事業、20,318千円</li> <li>・一般会計繰出：7事業、15,752千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンエネルギー導入支援事業：9事業、26,353千円</li> <li>・一般会計繰出：8事業、17,883千円</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>植樹活動への支援</li> </ul>				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・苗木等の支援：11地区、3,465本</li> <li>・植樹への職員参加：6地区、延べ73人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苗木等の支援：15地区、3,266本</li> <li>・植樹への職員参加：8地区、延べ86人</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門研修体系に基づく研修の実施</li> </ul>				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>受講実績：64カリキュラム、延べ383人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講実績：66カリキュラム、延べ438人</li> </ul>		

⑤ 行政運営の透明性の向上

指標	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
		(H27)	(H28)	(H29)	
自主的公表新規実施・充実件数（件／年）	目標	0	1	1	1
	実績	1	0	1	
	達成度		—	A	

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・行政情報の提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種情報公開関連制度の周知・充実</li> </ul>				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>職員を対象とした情報公開事務基礎研修：1回、49人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「理容美容許可施設一覧」の自主的公表開始（H28.5月）</li> <li>・職員を対象とした情報公開事務基礎研修：1回、46人</li> </ul>		

基本方針1 いわたの未来づくりを支える専門集団への更なる進化

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・財政健全化法に基づく指標の公表	指標の公表	健全化判断比率の報告・公表 (H27.9月)	健全化判断比率の報告・公表 (H28.10月)		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>統一した基準による財務書類等の整備 (平成28年度決算に基づく財務書類等の作成)</li> <li>統一した基準の導入に向けた準備</li> </ul>	統一した基準の導入に向けた準備	統一した基準による財務書類等の公表及び活用	
・地方公会計制度に対応した財務書類等の整備・公表等					
・流域下水道事業への地方公営企業法適用準備	基本方針等検討	基本方針等策定 基本方針策定 (H27.6月)			
		固定資産調査、評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>固定資産調査及び評価要領の作成</li> <li>支援業務計画書の作成等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>固定資産調査等の実施</li> </ul>	
			公営企業会計システム構築・仮運用		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>システム構築に係る調査及び検討</li> </ul>		

⑥ 公共調達最適化

指標	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
		(H27)	(H28)	(H29)	
「県が締結する契約に関する条例」の基本理念を実現するための県の取組公表回数 (回/年)	目標	1	1	1	1
	実績	—	1		
	達成度		A	A	

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・地域維持型契約方式の導入	地域の実情を踏まえて導入を検討・実施	遠野管内4地区、平泉地区で導入	遠野管内4地区、平泉地区で導入		
・建設工事の低入札価格調査制度の適切な運用	入札状況等を踏まえた低入札価格調査制度の適切な運用と見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>随意契約を除く全ての工事を対象として低入札価格調査制度を運用</li> <li>低入札追跡調査の実施</li> <li>落札率等入札動向の調査・分析</li> <li>落札率：90.5%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>随意契約を除く全ての工事を対象として低入札価格調査制度を運用</li> <li>調査基準価格算定率の引上げ</li> <li>低入札追跡調査の実施</li> <li>落札率等入札動向の調査・分析</li> <li>落札率：90.3%</li> </ul>		
・建設工事の入札不調対策の推進	入札不調対策の検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>実勢を反映した工事価格の算定等の対策を引き続き実施</li> <li>取止め発生率：8.8%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実勢を反映した工事価格の算定等の対策を引き続き実施</li> <li>取止め発生率：9.6%</li> </ul>		

基本方針1 いわての未来づくりを支える専門集団への更なる進化

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・物品調達・印刷請負に係る一般競争入札の実施  ・県が締結する契約に関する条例の基本理念の実現を図る取組の推進	予定価格160万円超（印刷等製造の請負は250万円）の物品調達・印刷請負に係る一般競争入札の実施				
		・一般競争入札の実施 ・一般競争入札での契約率（契約金額）：61.6%	・一般競争入札の実施 ・一般競争入札での契約率（契約金額）：66.1%		
	県が締結する契約に関する条例の制定	条例の基本理念の実現を図る取組の取りまとめ 取組の取りまとめ（H28.3月）	取組の推進 取組実施（86項目）  取組内容の見直し 取組内容の見直し・公表（H29.3月）		

⑦ 適正な事務処理の確保

指標	現状値（H26）	年度目標値			計画目標値（H30）
		（H27）	（H28）	（H29）	
補助事業及び委託事業に係るよろず相談等対応数（件／年）	目標	48	48	48	48
	実績	39	39	196	
	達成度		B	A	

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・適正な会計事務処理の確保	会計事務研修の実施				
		実績：5回、378人	実績：5回、350人		
	会計実地検査及び会計事務自己点検の実施				
		会計実地検査：55機関 会計自己点検（4回）：335機関	会計実地検査：57機関 会計自己点検（4回）：335機関		
・補助事業等の適正な執行の確保	所属長による補助・委託事業に係る自己点検の実施				
		補助事業：78機関、124事業 委託事業：83機関、157事業	補助事業：56機関、126事業 委託事業：75機関、157事業		
	補助事業等の事務処理基本研修の開催	実績：県内4か所、191人	会計検査に係る会計アドバイザー等による研修会・意見交換会等の開催 実績：延べ21回、延べ1,519人		
	補助・委託よろず相談所（職員の疑問等の相談に乗り、事務処理の円滑化を支援）による相談対応				
		よろず相談：3件 その他の相談：36件	よろず相談：19件 その他の相談：177件		
	出納局と各部局企画室等が一体となった補助事業等の内部考査の実施				
		実績：18機関、19事業	実績：14機関、14事業		

⑧ 監査機能の強化

指標		現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
			(H27)	(H28)	(H29)	
監査実施率 (%)	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績		100.0	100.0		
	達成度		A	A		

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・ 監査機能の強化	全監査対象機関を対象とした予備監査の実施				
		全機関（324機関）を対象として予備監査実施	全機関（323機関）を対象として予備監査実施		
	指摘事項等を踏まえた監査重点項目の設定				
		監査重点項目：委託契約事務、補助金事務、物品管理事務	監査重点項目：収入事務、補助金事務		
	外部確認の実施（業者に対し監査対象機関との取組実績を照会）				
	照会実績：33機関、97業者	照会実績：33機関、97業者			
専門研修の受講（自治大学校、会計検査院研修所、全都道府県監査委員協議会連合会等）					
	受講実績：7講座、13人	受講実績：8講座、15人			
行政課題等を勘案した特定テーマによる行政監査の実施					
	テーマ：県が所管する学校における徴収金について	テーマ：公の施設の指定管理者制度について			
・ 他機関等との連携	包括外部監査人との連携（監査結果の情報共有）				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監査委員と包括外部監査人との意見交換：3回</li> <li>・ 包括外部監査の指摘事項等を予備監査時に確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監査委員と包括外部監査人との意見交換：3回</li> <li>・ 包括外部監査の指摘事項等を予備監査時に確認</li> </ul>		
・ 監査情報の発信	「監査だより」の発行（監査対象機関に対する業務遂行上の注意事項等の情報提供）				
		年4回発行	年4回発行		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民に情報提供する仮称「監査年報」の作成に向けた情報収集</li> <li>・ ブロック会議等において他県との情報交換実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮称「監査年報」ひな型作成</li> <li>・ 仮称「監査年報」ひな型作成</li> </ul>	仮称「監査年報」発行	

⑨ 危機管理体制の強化

指標		現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
			(H27)	(H28)	(H29)	
各部局・各地方支部における危機管理に関する研修等の実施割合(%)	目標	—	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績		100.0	100.0		
	達成度		A	A		

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・職員の災害対応能力の向上		災害対策本部支援室図上訓練等の実施			
		県総合防災訓練等において災害対策本部支援室図上訓練を実施	災害情報システム一斉活用訓練等において災害対策本部支援室図上訓練を実施		
・各種計画、マニュアル、協定等の見直し		訓練の検証結果や環境の変化等を踏まえた見直し			
		各種災害等の教訓を踏まえ、県地域防災計画の見直し等を実施	台風第10号災害等の教訓を踏まえ、県地域防災計画の見直し等を実施		
・情報セキュリティ対策の強化	情報セキュリティポリシー改正	マイナンバー制度施行による情報セキュリティ対策の強化、標的型攻撃への対応			
		情報セキュリティに係る攻撃リスク等の低減のための抜本的強化対策の検討	・情報セキュティクラウドの構築 ・個人番号利用事務環境等のインターネット接続環境からの分離 ・資産管理システムの更新(H28.10月運用開始)		
		次期ひとり一台端末の仕様検討	次期ひとり一台端末の更新整備		
		次期ひとり一台端末の更新に係る方針決定	ひとり一台端末調達、更新整備(1,334台)		仮想デスクトップの検討





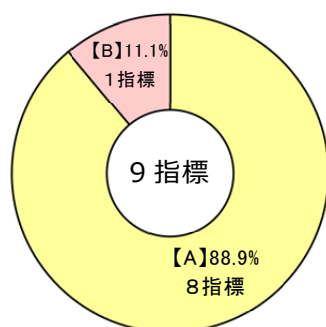
## 基本方針2 多様な主体の連携・協働による公共サービスの提供

県は、「地域経営」の推進者として、復興を進める中で生まれている多くの絆、つながりを財産とし、今後の復興や地域課題対応を支える連携・協働のシステムとして確立していく必要があります。

そのため、「開かれた復興」の推進や、県民総参加による第71回国民体育大会・第16回全国障害者スポーツ大会の開催など、県と多様な主体との連携・協働による具体的な取組を進めます。また、復興や地域課題対応に向けて連携・協働して取り組むNPO等の運営基盤強化など、公共サービス分野の連携・協働の輪を広げる環境の整備を進めます。

### 1 平成28年度末における指標の達成状況

推進項目ごとに設定した9指標全て（100%）が「達成【A】」又は「概ね達成【B】」となりました。



#### 【グラフの見方】

- 指標の達成度ごとの構成比と指標数を表示しています。  
※構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。
- 指標の「達成度」は、各年度の目標値に対する達成率（%）に応じて次のとおり判定しています。

目標達成率	100%以上	80%以上 100%未満	60%以上 80%未満	60%未満
達成度	達成【A】	概ね達成【B】	やや遅れ【C】	遅れ【D】

### 2 取組状況（平成28年度取組実績）

#### (1) 県と多様な主体との連携・協働の推進

- 「開かれた復興」の考え方を踏まえ、NPO、民間企業、関係団体、県内外の専門家等との連携・協働により、被災者の生活支援や被災地の事業者支援など様々な復興支援の取組を進めました。

また、「NPO等による復興支援事業」を活用し、復興支援活動を行う県内NPO等31団体に対して助成を行ったほか、いわて未来づくり機構が実施する「いわて三陸復興のかけ橋」プロジェクト事業による復興支援マッチング等を支援しました。

- 復興のシンボルとなる第71回国民体育大会・第16回全国障害者スポーツ大会は、花いっぱい運動などの県民運動、各種ボランティア活動、開・閉会式会場や各競技会場での応援、おふるまいなどに多数の県民、企業・学校等の参加があり、また、募金・企業協賛活動にも多くの協力が得られるなど、オール岩手で開催することができました。

また、スポーツの祭典に合わせ、文化・芸術・経済・産業等の分野を含めた全県的な盛り上げりを醸成する「国体・大会プラス」の取組を、多様な主体との連携・協働

により実施しました。

- ・ 県行政の様々な分野において、公共サービスマッチングシステム<sup>※7</sup>による民間企業との協働の取組（包括連携協定等）、県事業におけるNPO等への業務委託の取組、NPO等民間の方々が見守りや政策提言を行う「県民協働型評価」の取組、若者定着の促進に向けた「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の取組、若者・女性の県内就職促進に向けた「いわてで働こう推進協議会」の取組等、多様な主体との連携・協働による具体的な取組を推進しました。

## (2) 公共サービス分野の連携・協働の輪を広げる環境の整備

- ・ NPO活動交流センターを拠点として、活動場所や情報の提供等により、市民活動や協働の取組を支援しました。

また、NPO等の運営基盤を強化するため、NPOの資金調達を官民協働で支援する支援協定に基づき、地域課題解決に取り組む人材育成講座を開催するとともに、会計等講座の開催、経理指導、認定NPO法人制度の普及啓発等を行いました。

- ・ 元気なコミュニティ特選団体の新規認定、先進事例紹介、各種助成制度を活用した活動支援等により地域コミュニティ活動を支援するとともに、地域づくり関連セミナーの開催により地域コミュニティ活動を担う人材育成に取り組みました。
- ・ 地方独立行政法人<sup>※8</sup>の「公立大学法人岩手県立大学」及び「地方独立行政法人岩手県工業技術センター」について、岩手県地方独立行政法人評価委員会による業務実績評価を実施し、法人の目標達成を支援しました。
- ・ 県出資等法人に係る運営評価を実施し、施策目標の達成や法人運営の改善を支援するとともに、復興に向けた事業委託を進めることにより、県と法人の施策の連携強化を図りました。
- ・ 指定管理者制度導入施設に係る管理運営状況評価を実施し、質の高いサービスの提供と効率的な施設運営の確保に向けて、施設設置者（県）と指定管理者の連携・協働による施設運営の改善を進めました。
- ・ オープンデータ<sup>※9</sup>の取組を進めるため、著作権、二次利用等の公開条件について規約を制定し、県の公式ホームページ内で公開を開始しました。

※7 公共サービスマッチングシステム 企業が地域貢献活動について、県と連動して取組を実施しようとする場合、県の総合窓口を通じて、相談・提案をいただき調整を行う仕組み。

※8 地方独立行政法人 公共上の見地から確実に実施されることが必要な事例及び事業であって、民間の主体に委ねた場合には必ずしも実施されないおそれがあるものについて、効率的かつ効果的に行わせることを目的として、地方公共団体が設立する法人。

※9 オープンデータ 県が保有する統計情報等の公共データを機械判読に適した形式で公開し、営利・非営利を問わず二次利用を広く認めて積極的な活用を促す取組。

◆ 目標及び工程表

【記載内容】

- ① 推進項目ごとに指標を定め、毎年度の目標値を設定しており、実績については平成28年度実績まで記載しています。
- ② 指標の「達成度」は、各年度の目標値に対する達成率（％）に応じて次のとおり判定しています。  
「達成【A】」:100%以上、「概ね達成【B】」:80%以上100%未満、「やや遅れ【C】」:60%以上80%未満、「遅れ【D】」:60%未満
- ③ 「取組内容」欄に記載した取組の工程について、各年度欄に四角囲みで計画を、その下に文章で取組実績を記載しています。  
複数年にわたり継続する取組については、矢印で取組期間を示しています。
- ④ 今後、取組状況や環境変化等を踏まえて取組内容の柔軟な見直しを行い、計画の着実な推進を図るとともに、新たな課題に迅速かつ的確に対応していきます。

(1) 県と多様な主体との連携・協働の推進

① 開かれた復興の推進

指標	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
		(H27)	(H28)	(H29)	
被災地で設立されたNPO団体数(団体/年)	目標		5	5	5
	実績	4	6	6	
	達成度		A	A	

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・多様な主体との連携・協働による被災者の生活支援	被災者の生活再建に向けて、支援者間の連携強化を目的としたNPO、県、市町村間の定期的な情報共有、課題共有の実施				
		連携復興ミーティング：19回	連携復興ミーティング：17回		
・多様な主体との連携・協働による事業者の支援	NPO等との連携による被災地の児童生徒の学習支援及び居場所づくりの実施				
		被災地における学習支援等実施箇所数：19箇所（陸前高田市、大船渡市、住田町、釜石市、宮古市、田野畑村）	被災地における学習支援等実施箇所数：15箇所（大船渡市、陸前高田市、住田町、釜石市、宮古市、普代村、田野畑村）		
・復興支援活動の担い手の支援	商工関係団体、産業支援機関等との連携によるハンズオンによる起業支援等の実施				
		支援事業者数：17者	支援事業者数：78者		
・外部人材との連携・協働による復興支援	社会貢献活動を行っている民間企業や、NPO、産業支援機関等との連携による首都圏等への販路拡大支援の実施				
		支援実施件数：19件	支援実施件数：19件		
・いわて未来づくり機構が実施する「いわて三陸 復興のかけ橋」プロジェクト事業の支援	「NPO等による復興支援事業」を活用した復興支援の実施				
		助成団体数：県内NPO等29団体	助成団体数：県内NPO等31団体		
・いわて未来づくり機構が実施する「いわて三陸 復興のかけ橋」プロジェクト事業の支援	地域に居住して被災地の復興支援活動を行う「いわて復興応援隊」の配置				
		34人配置（新規受入：6人）	32人配置（新規受入：1人）		
・いわて未来づくり機構が実施する「いわて三陸 復興のかけ橋」プロジェクト事業の支援	復興まちづくり活動支援を目的としたまちづくり協議会等へのまちづくり専門家等の派遣				
		派遣実績：3市10地区	派遣実績：2市7地区		
・いわて未来づくり機構が実施する「いわて三陸 復興のかけ橋」プロジェクト事業の支援	他都道府県等から派遣された調査専門職員との協働による埋蔵文化財調査の実施				
		他県等からの応援職員数（専門職員） H27年度：8人	他県等からの応援職員数（専門職員） H28年度：3人	※H28年度で終了	
・いわて未来づくり機構が実施する「いわて三陸 復興のかけ橋」プロジェクト事業の支援	かけ橋作業部会の運営				
		・作業部会：2回 ・アドバイザー会議：1回	・作業部会：2回 ・アドバイザー会議：1回		

基本方針2 多様な主体の連携・協働による公共サービスの提供

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・いわて未来づくり機構が実施する「いわて三陸 復興のかけ橋」プロジェクト事業の支援（続き）	復興支援マッチングの推進、復興情報の発信、ネットワーク体制の構築・強化				
		・支援箇所数：123箇所 ・発信記事数：325件	・支援箇所数：97箇所 ・発信記事数：306件		

② 県民総参加による第71回国民体育大会・第16回全国障害者スポーツ大会の開催

指標		現状値 (H26)	年度目標値 (H27)	計画目標値 (H28)
運営ボランティア登録者数（人・累計）	目標	—	5,380	5,380
	実績		8,229	8,229
	達成度		A	A

取組内容	～H26	H27	H28
・県民運動の普及促進	花いっぱい運動の実施		
		植栽等活動のための花苗供給数：121,720株	植栽等活動のための花苗供給数：129,976株
		「130万人で参加宣言！」登録受付 登録受付数：500件	登録数：584件
		運営ボランティアの募集・育成 ・運営ボランティア登録者数：8,229人 ・研修会：8回	運営ボランティア活動数：3,767人
		装飾物等の協働制作 県・市町村立学校225校と協働制作（のぼり228枚）	都道府県応援団の活動実施 都道府県応援団参加：26校
・募金・企業協賛の推進	各種スポーツ大会・イベント等における募金活動の実施		
		募金活動：82回	募金活動：33回
・民間活力の活用	大口企業・団体への訪問要請		
		訪問要請：219件	訪問要請：47件
	民間委員を含む実行委員会組織の運営		
		総会、常任委員会及び各専門委員会等：35回	総会、常任委員会及び各専門委員会等：3回
	民間からの職員派遣の受入れ		
	職員派遣受入れ：2団体、2名	職員派遣受入れ：2団体、2名	
民間の参画を促すための企画提案及び民間との調整を行うコーディネーターの活用			
	企画提案・調整業務委託契約：1件	企画提案・調整業務委託契約：1件	

基本方針2 多様な主体の連携・協働による公共サービスの提供

取組内容	～H26	H27	H28
・「国体・大会プラス」に係る連携・協働の取組		<p>「国体・大会プラス」の各取組の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手の魅力を発信する動画の公募・選定</li> <li>・マンガ小冊子作成・配付</li> <li>・「まるごと芸術体験フェスタin県民会館」開催（参加者1,200人）</li> <li>・冬季大会「応援＆おもてなしメニュー提供の店」登録（164店舗）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開閉式パブリックビューイング（被災地を含む県内8カ所で開催）</li> <li>・国体・大会来場者向け情報発信（県内9エリアごとのガイド紙を作成し、宿泊施設等で提供）</li> <li>・国体・大会応援アプリの公開 等</li> </ul>

③ 連携・協働の全面展開

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・公共サービスマッチングシステムによる協働の推進	公共サービスマッチングシステムによる民間企業との協定締結、マッチングの継続実施				
・県事業におけるNPO等との協働の推進	「NPOを対象を含む事業委託の手続きの適正化に関するガイドライン」を踏まえた、NPO等への業務委託の推進				
・県民協働型評価の実施	県民協働型評価の実施				
・高等教育機関等との連携による若者定着の促進（地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）等）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価実施：3団体</li> <li>・報告会開催（H28.2月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価実施：3団体</li> <li>・報告会開催（H29.2月）</li> </ul>		
		地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）による関係機関と連携した取組の実施			
		ふるさといわて創造協議会への参画（知事が副会長に就任）	ふるさといわて創造協議会への参画（知事が副会長）		
		「地方公共団体と地方大学の連携による雇用創出・若者定着促進要綱」による取組の実施			
		県立大への委託事業実施：2件	岩手大及び県立大への委託事業実施：3件		
・「いわてで働こう推進協議会」による若者・女性の県内就職促進		協議会設立 「いわてで働こう推進協議会」設立（H28.2.8）	関係機関が連携した県内就職促進の取組実施 協議会等開催：6回		

(2) 公共サービス分野の連携・協働の輪を広げる環境の整備

① NPO等の運営基盤強化

指標	現状値（H26）	年度目標値			計画目標値（H30）
		（H27）	（H28）	（H29）	
県民活動交流センター利用登録団体数（団体）	目標	430	450	470	490
	実績	409	439	459	
	達成度		A	A	

基本方針2 多様な主体の連携・協働による公共サービスの提供

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・市民活動に参画する県民等のための「場」「情報」の提供	NPO活動交流センターの管理運営				
		貸室利用者数： 22,367人（稼働率 95.5%）	貸室利用者数： 21,238人（稼働率 95.4%）		
・協働のノウハウ・仕組み定着のための情報提供・普及啓発	NPO・ボランティア活動情報誌の発行				
		活動情報誌発行：4 回（1回当たり 1,367団体へ配布）	活動情報誌発行：4 回（1回当たり 1,453団体へ配布）		
・NPO等の運営基盤強化に向けた支援	セミナー・講習会の開催、専門家派遣による支援				
		会計等講座：11回 寄附募集セミナー： 3回 専門家（税理士）派 遣：13回	会計等講座：8回 寄附募集セミナー： 3回 経理説明会：3回 経理個別指導：10団 体		
・地域の活動支援機能の充実	官民協働によるNPOの資金調達を支援する仕組みの構築 関係5者による支援協定締結 (H27.11.19、県、金融機関、税理士会、行政書士会及び中間支援団体)		官民協働によるNPOの資金調達支援の実施 ソーシャルビジネス創業スクール：3会場各5回の講座開催 (H28.9月、10月一関市、H29.2月盛岡市、H29.3月久慈市)		
	いわてNPO中間支援ネットワークとの連携による支援				
・認定NPO法人制度の普及啓発	ソーシャルビジネス促進講演会の共催 (H28.1.16)				
		ソーシャルビジネス創業スクールの協働実施：3会場各5回の講座開催 (H28.9月、10月一関市、H29.2月盛岡市、H29.3月久慈市)			
・地域課題解決に取り組むNPO等への助成	セミナー・講習会の開催、個別対応による支援				
		・認定NPO法人取得セミナー：3回 ・認定数：認定1法人、仮認定1法人	認定数：認定3法人、仮認定1法人		
「NPO等による復興支援事業」を活用した活動助成					
		助成団体数：県内NPO等29団体	助成団体数：県内NPO等31団体		

② 地域コミュニティの活動促進

指標	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
		(H27)	(H28)	(H29)	
元気なコミュニティ特選 団体数（団体・累計）	目標	142	147	152	157
	実績	142	157		
	達成度	A	A		

基本方針2 多様な主体の連携・協働による公共サービスの提供

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・住民主体のコミュニティ活動の支援	元気なコミュニティ特選団体の選定				
		新規認定数：5団体	新規認定数：15団体		
	地域づくりフォーラムの開催・先進事例の紹介				
		・地域づくりフォーラム開催（H27.8.30盛岡市） ・先進事例紹介：13件	・地域づくりフォーラム開催（H28.9.22盛岡市） ・先進事例紹介：27件		
各種コミュニティ助成制度を活用した活動支援					
		活動支援件数：58件	活動支援件数：58件		
・地域コミュニティ活動を担う人材の育成	地域づくり関連セミナーの開催				
		・地域づくりフォーラム開催（H27.8.30盛岡市）：参加者70人 ・地域活性化セミナー開催（H27.7.22盛岡市、H28.2.15盛岡市）：参加者139人	・地域づくりフォーラム開催（H28.9.22盛岡市）：参加者99人 ・地域活性化セミナー開催（H28.7.25住田町、H29.1.23盛岡市）：参加者245人		

③ 地方独立行政法人の目標達成支援

【公立大学法人岩手県立大学】

指標	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
		(H27)	(H28)	(H29)	
年度業務実績の項目別評価結果がB評価以上の項目の割合（%）	目標	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	100.0	100.0		
	達成度	A	A		

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・岩手県地方独立行政法人評価委員会による業務実績評価結果の業務運営への反映	岩手県地方独立行政法人評価委員会による業務実績評価の実施				
		平成26事業年度実績評価を実施（概ね計画どおり）  第2期中期目標暫定評価の実施  第2期中期目標の暫定的な評価を実施（H28.1月）	平成27事業年度実績評価を実施（概ね計画どおり）  暫定評価結果等を踏まえた第3期中期目標の策定  第3期中期目標を策定（H28.12月）	第2期中期目標実績評価の実施	

【地方独立行政法人岩手県工業技術センター】

指標	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
		(H27)	(H28)	(H29)	
年度業務実績の項目別評価結果がA評価以上の項目の割合（%）	目標	85.0	85.0	85.0	85.0
	実績	89.3	96.4	96.4	
	達成度	A	A		

基本方針2 多様な主体の連携・協働による公共サービスの提供

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・岩手県地方独立行政法人評価委員会による業務実績評価結果の業務運営への反映	● 岩手県地方独立行政法人評価委員会による業務実績評価の実施				
		平成26事業年度実績評価を実施（計画どおり）	平成27事業年度実績評価を実施（計画どおり）		
		● 第3期中期目標の策定 第3期中期目標を策定（H27.12月）	● 第2期中期目標実績評価の実施 第2期中期目標実績評価を実施（計画どおり）		

④ 県出資等法人の目標達成支援

指標	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
		(H27)	(H28)	(H29)	
事業目標の達成割合が50%以上の法人の割合 (%)	目標	80.0	80.0	80.0	80.0
	実績	80.0	88.0		
	達成度	A	A		

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・運営評価制度の検討・実施	● 運営評価制度の検討・実施				
		運営評価の実施：42団体（うち簡易評価17団体）	運営評価の実施：42団体（うち簡易評価17団体）		
・県と法人の施策の連携強化	● 県と法人の施策の連携強化の検討・実施				
		復興に向けた県等からの事業委託による連携強化（用地取得、被災者等生活困窮者の支援、被災地介護予防支援等）	復興に向けた県等からの事業委託による連携強化（用地取得、被災者等生活困窮者の支援、被災地介護予防支援等）		
・法人の経営状況等に関する情報公開	● 積極的かつ分かりやすい情報公開の促進				
		運営レポート等の公表	運営レポート等の公表		

⑤ 指定管理者制度導入施設のサービス向上

指標	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
		(H27)	(H28)	(H29)	
管理運営状況評価中「サービスの質」がA評価の施設の割合 (%)	目標	48.0	50.0	55.0	60.0
	実績	46.2	43.9	48.8	
	達成度	B	B		

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・指定管理者制度導入施設の施設運営の改善	● 管理運営状況評価による効果検証				
		各施設所管課において管理運営状況を確認、評価の実施（全45施設）	各施設所管課において管理運営状況を確認、評価の実施（全45施設）		
		● 公の施設に係る指定管理制度導入のガイドラインの見直し 制度導入の成果と課題のとりまとめ	● 公の施設に係る指定管理制度導入のガイドラインの見直し 制度導入の成果や課題を踏まえたガイドラインの見直し（雇用・労働条件に関する事項の共通様式化）		



⑥ オープンデータの推進

指標		現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
			(H27)	(H28)	(H29)	
オープンデータ公開項目 数(件/累計)	目標	0	0	5	17	30
	実績		0	11		
	達成度		—	A		

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・県が保有する公共データの公開 (オープンデータ)		著作権、二次利用等の諸条件の整理	加工可能な形式でのデータ公開		
		公開条件の検討	岩手県オープンデータサイトの公開開始 (H28.12月)		



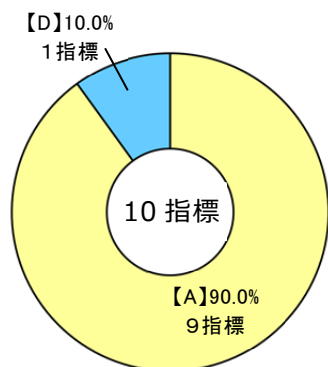
## 基本方針3 いわてを支える持続可能な財政構造の構築

増大する社会保障関係費や高水準で推移する県債の償還などにより、今後も厳しい財政運営が予想されることから、政策編及び地域編の目標達成を最優先としつつ、持続的に行政サービスを提供できるような財政構造を構築していく必要があります。

そのため、歳入確保の取組を強化するとともに、政策編及び地域編の目標達成に向けて貴重な財源の重点的かつ効果的な活用を図るため、予算編成において適正な公債費負担に配慮しながら全ての事務事業を精査し、歳出の重点化と将来負担の軽減を図ります。

### 1 平成 28 年度末における指標の達成状況

推進項目ごとに設定した 10 指標のうち、9 指標（90.0%）が「達成【A】」となりました。



#### 【グラフの見方】

- 指標の達成度ごとの構成比と指標数を表示しています。  
※構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。
- 指標の「達成度」は、各年度の目標値に対する達成率（%）に応じて次のとおり判定しています。

目標達成率	100%以上	80%以上 100%未満	60%以上 80%未満	60%未満
達成度	達成【A】	概ね達成【B】	やや遅れ【C】	遅れ【D】

- 「ネーミングライツ新規契約数」は、他自治体の類似施設を参考に公募しましたが、応募企業がなく、計画目標値には届かず達成度は【D】となりました。

### 2 取組状況（平成 28 年度取組実績）

#### (1) 歳入確保の強化

- 県税収入を確保するため、「岩手県税収確保対策指針」に基づき、滞納処分の強化（徴収額：71 百万円）や市町村への支援強化等により収入未済額の縮減を図るとともに、課税捕捉調査の強化による課税対象の捕捉に努めました。
- 「第 3 次岩手県滞納債権対策基本方針」に基づき、債権管理の徹底、外部委託による滞納債権収納（収納実績：138 件・1 百万円）等による回収強化、新規発生の抑止等に取り組みました。
- 県有資産の有効活用によって歳入を確保するため、公募による自動販売機設置（収入：51 百万円）、県有施設における広告事業（収入：6 百万円）、旧防災ヘリコプターなど未利用資産の売却（処分実績：30 件・573 百万円）などの取組を進めました。
- 受益と負担の適正化の観点から、使用料及び手数料の改定検討基準による点検を実施し、見直し（改定・一部新規設定 4 件）を行いました。

(2) 歳出の重点化と将来負担の軽減

- ・ 予算編成において全ての事務事業を精査し、投資的経費※10の見直し（予算調整を通じたコスト削減の推進）、県単独補助金・負担金の見直し（廃止・縮減：36事業・縮減額3,065百万円）などにより歳出の重点化を図りました。
- ・ 将来負担の軽減に向けて、低利資金への借換による公債費の将来負担削減、公共施設等の長寿命化に向けた「岩手県公共施設等総合管理計画」に基づく公共施設マネジメントの推進、基幹業務システムのオープンシステム化をはじめとする情報システムの最適化などに取り組みました。

---

※10 投資的経費 道路や学校など、ストックとして将来に残る施設等を整備するための経費。

◆ 目標及び工程表

【記載内容】

- ① 推進項目ごとに指標を定め、毎年度の目標値を設定しており、実績については平成28年度実績まで記載しています。
- ② 指標の「達成度」は、各年度の目標値に対する達成率（％）に応じて次のとおり判定しています。  
「達成【A】」:100%以上、「概ね達成【B】」:80%以上100%未満、「やや遅れ【C】」:60%以上80%未満、「遅れ【D】」:60%未満
- ③ 「取組内容」欄に記載した取組の工程について、各年度欄に四角囲みで計画を、その下に文章で取組実績を記載しています。  
複数年にわたり継続する取組については、矢印で取組期間を示しています。
- ④ 今後、取組状況や環境変化等を踏まえて取組内容の柔軟な見直しを行い、計画の着実な推進を図るとともに、新たな課題に迅速かつ的確に対応していきます。

(1) 歳入確保の強化

① 県税収入の確保

指標	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
		(H27)	(H28)	(H29)	
整理対象収入未済額（百万円）	目標	288	282	275	263
	実績		260	217	
	達成度		A	A	

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・納期内納付率の向上		周知広報等による納期内納付率の向上			
		自動車税納期内納付率（件数ベース）： 79.2%	自動車税納期内納付率（件数ベース）： 79.9%		
・個人県民税を除く収入未済額（徴収猶予、執行停止を除く）の縮減		岩手県税収確保対策指針の策定 指針策定（H28.3月）			岩手県税収確保対策指針の見直し
		滞納処分の強化による収入確保			
		県税全体収入未済縮減実績 ・収入未済額： 2,013百万円（前年度比較▲150百万円） ・滞納処分による徴収額：71百万円	県税全体収入未済縮減実績 ・収入未済額： 1,806百万円（前年度比較▲207百万円） ・滞納処分による徴収額：71百万円		
・個人県民税の収入確保、収入未済額縮減に向けた市町村への支援強化		岩手県地方税特別滞納整理機構による収入確保			
		個人県民税収入未済額縮減実績 ・収入未済額： 1,388百万円（前年度比較▲54百万円） ・機構による徴収額ほか効果額：690百万円	個人県民税収入未済額縮減実績 ・収入未済額： 1,242百万円（前年度比較▲146百万円） ・機構による徴収額ほか効果額：517百万円		
		岩手県地方税特別滞納整理機構の組織運営の見直し 個人県民税の収入確保のため、当面現行どおり継続			岩手県地方税特別滞納整理機構の組織運営の見直し
		収入未済額縮減に向けた市町村の支援			
		市町村検討会、合同捜索会等の実施：74回	市町村検討会、合同捜索会等の実施：54回		

基本方針3 いわてを支える持続可能な財政構造の構築

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・課税捕捉調査の強化	課税捕捉調査の効果的な実施				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕捉実績：732件、83百万円</li> <li>・外形標準課税に係る調査件数：36件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕捉実績：778件、65百万円</li> <li>・外形標準課税に係る調査件数：56件</li> </ul>		

② 滞納債権対策の強化

指標		現状値(H26)	年度目標値			計画目標値(H30)
			(H27)	(H28)	(H29)	
現年度分滞納債権の徴収率(%)	目標	81.4	81.4	81.4	81.4	81.4
	実績		86.5	82.7		
	達成度		A	A		

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・「第3次岩手県滞納債権対策基本方針」に基づく回収強化	債権管理の徹底、債権回収の徹底及び新規滞納債権発生 の抑止				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・債権回収強化月間の実施</li> <li>・滞納債権マニュアルの改訂</li> <li>・回収不能債権の整理</li> <li>・滞納債権担当職員研修会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・債権回収強化月間の実施</li> <li>・滞納債権マニュアルの改訂</li> <li>・回収不能債権の整理</li> <li>・滞納債権担当職員研修会の実施</li> </ul>		
		次期基本方針の検討・策定		次期基本方針に基づく取組の実施	
		これまでの取組成果と課題のとりまとめ (ワーキンググループの開催)	これまでの取組成果と課題のとりまとめ (ワーキンググループ、滞納債権対策連絡会議の開催) ・第4次滞納債権対策基本方針の策定(H29.3月)		
	滞納債権収納業務の外部委託の継続実施				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託債権：104件、32百万円</li> <li>・収納実績：56件、1百万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託債権：199件、84百万円</li> <li>・収納実績：138件、1百万円</li> </ul>		

③ 県有資産の有効活用

指標		現状値(H26)	年度目標値			計画目標値(H30)
			(H27)	(H28)	(H29)	
ネーミングライツ新規契約数(件/年)	目標	0	0	1	1	1
	実績		1	0		
	達成度		A	D		
未利用資産の売却数(件/年)	目標	31	14	14	14	14
	実績		19	30		
	達成度		A	A		

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・県有資産の有効活用	自動販売機設置に係る公募制の継続実施				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・収入：50百万円</li> <li>・公募制拡大実施：新規12施設18台、落札金額3百万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収入：51百万円</li> <li>・公募制拡大実施：新規4施設6台、落札金額1百万円</li> </ul>		

基本方針3 いわてを支える持続可能な財政構造の構築

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・ 県有資産の有効活用（続き）	県有施設における広告事業の継続実施				
		収入：7百万円 （対象）県ホーム ページバナー広告、 県庁舎エレベーター ホール等ポスター広 告掲示等	収入：6百万円 （対象）県ホーム ページバナー広告、 県庁舎エレベーター ホール等ポスター広 告掲示等		
	ネーミングライツ事業の継続実施				
		契約締結：1件 ・小田島組☆ほ～る （いわて県民情報交 流センターアイーナ ホール）、H28～30 年度、契約金額3百 万円/年	1施設で公募を実 施：応募者なし		
・ 未利用資産の売却	流域下水道の汚泥処理工程で発生 する消化ガスの売却に向けた準備 （契約締結、民間発電事業者によ る発電設備の建設等）				
		民間発電事業者と基 本協定締結 (H27. 11. 4)	（民間発電事業者と 電力会社との間で連 系系統の手続を実 施）	消化ガスの売却（発電）	
	県有未利用資産活用・処分方針に基づく取組の継続実施				
		処分実績：19件、 348百万円	処分実績：30件、 573百万円		

④ 受益者負担の適正化

指標	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
		(H27)	(H28)	(H29)	
使用料及び手数料の改定 検討基準による点検率 (%)	目標	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	100.0	100.0		
	達成度	A	A		

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・ 原価や実勢価格の適正な反映 等	使用料等の見直しの検討・実施				
		【H28当初予算】 使用料・手数料等の 改定・一部新規設 定：12件	【H29当初予算】 使用料・手数料等の 改定・一部新規設 定：4件		
・ 県有施設等における減免措置 の必要性の点検	使用料等の減免措置の必要性の点検・検討				
		行政財産使用料等の 減免措置の見直し実 施	行政財産使用料等の 減免措置の見直し実 施		

その他の歳入確保

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・ 各種基金の活用	財源対策3基金をはじめとする各種基金の活用等の検討・実施				
		財源対策3基金の活 用額：189億円	財源対策3基金の活 用額：243億円		
・ 外郭団体、外部資金（国の無 利子貸付等）の活用	国の無利子貸付等の活用等の検討・実施				
		東日本大震災津波復 興基金の活用額：41 億円	東日本大震災津波復 興基金の活用額：38 億円		

(2) 歳出の重点化と将来負担の軽減

① 投資的経費の見直し

指標		現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
			(H27)	(H28)	(H29)	
普通建設事業所管部局に 対する震災対応以外の投 資的経費の点検率 (%)	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績		100.0	100.0		
	達成度		A	A		

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・公共事業の選択と集中による 重点化	公共事業の選択と集中（震災対応以外）				
		【H28当初予算】 重点化による効果的 な執行 ・普通建設事業費： 663億円（対前年比 +2.1%） （うち公共事業費： 449億円（対前年比 ▲6.1%）、公共事 業費以外：214億円 （対前年比+ 25.3%））	【H29当初予算】 重点化による効果的 な執行 ・普通建設事業費： 778億円（対前年比 +17.3%） （うち公共事業費： 506億円（対前年比 +12.7%）、公共事 業費以外：272億円 （対前年比+ 27.0%））		
・大規模施設整備事業の見直し	大規模施設整備事業の見直し検討・実施				
		事業内容の精査等による見直し実施	事業内容の精査等による見直し実施		
・コスト削減の推進	コスト削減策の検討・実施				
		予算調整を通じて縮減	予算調整を通じて縮減		

② 補助金・負担金の見直し

指標		現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
			(H27)	(H28)	(H29)	
見直しの対象となる県単 補助金等の点検率 (%)	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績		100.0	100.0		
	達成度		A	A		

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・県単補助金等の見直し  (見直しに当たったの留意事項) ・繰上り補助金、各種負担金は原則 廃止 ・零細な補助金、団体運営費などは 必要性、補助効果を十分に検討 ・終期が到来したもの等は廃止	県単補助金等の見直しの検討・実施				
		【H28当初予算】 廃止・縮減：41事 業、縮減額1,511百 万円	【H29当初予算】 廃止・縮減：36事 業、縮減額3,065百 万円		

その他の歳出見直し

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・その他の経費の縮減	補助金・負担金以外の経費縮減の検討・実施				
		予算調整を通じて縮減	予算調整を通じて縮減		



③ 公債費負担の適正管理

指標		現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
			(H27)	(H28) 見込み	(H29)	
実質公債費比率 (%)	目標	20.4	20.7	20.3	19.9	19.1
	実績		20.5	19.7		
	達成度		A	A		

取組内容	~H26	H27	H28	H29	H30
・公債費の将来負担の軽減	保証金免除繰上償還及び低利資金への借換の実施による公債費の将来負担の軽減				
		低利資金への借換の実施	低利資金への借換の実施		

④ 公共施設等の長寿命化

指標		現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
			(H27)	(H28)	(H29)	
公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定割合 (%)	目標	0.0	0.0	12.5	25.0	50.0
	実績		0.0	27.3		
	達成度		—	A		

取組内容	~H26	H27	H28	H29	H30
・公共施設等の長寿命化に係る取組の推進	公共施設等総合管理計画の策定				
		「岩手県公共施設等総合管理計画」策定 (H28.3月)	個別施設計画の策定 (H32まで)		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>「岩手県公共施設等総合管理計画推進会議」設置 (H28.5月)</li> <li>「公共施設点検マニュアル」整備 (H29.3月)</li> <li>「個別施設計画策定指針」策定 (H29.3月)</li> </ul>		

⑤ 情報システムの最適化

指標		現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
			(H27)	(H28)	(H29)	
汎用機のオープンシステムへの切替件数 (件/累計)	目標	0	1	1	1	2
	実績		1	1		
	達成度		A	A		

取組内容	~H26	H27	H28	H29	H30
・基幹業務システムのオープンシステム化	次期給与システムオープン化				
		次期給与システム構築 (H27.9月運用開始)			
	財務会計システムオープン化				
		財務会計システムオープン化着手 (H27.12月)	システム変換作業実施、旅費システム設計		
税務総合オンラインシステムオープン化 (~H31)					
			オープン化着手 (H28.10月) 基本設計、詳細設計		

基本方針3 いわてを支える持続可能な財政構造の構築

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・個別業務システムのサーバ仮想化統合	統合基盤の更新				
	個別業務システムのサーバ統合、新たなシステムの仮想サーバ上での新規構築				
・行政情報ネットワークの最適化	次期ネットワーク構成検討	個別業務システムサーバ統合：18台	個別業務システムサーバ統合：21台		
		次期ネットワーク構成の検討、更新方法の決定	次期ネットワーク構築 ネットワーク機器更新・再構築	ネットワークの運用・保守	
・いわて情報ハイウェイの最適化	いわて情報ハイウェイの運用・保守	いわて情報ハイウェイの運用・保守	構成検討	再構築	利活用
			更新要件の検討、更新仕様書の作成		

その他の将来負担軽減

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・県出資等法人への県関与の適正化	県の財政的関与及び人的関与の適正化の検討・実施				
		・損失補償金額：522百万円減少（対前年比） ・県職員派遣数：95人減少（H20対比）	・損失補償金額：256百万円減少（対前年比） ・県職員派遣数：103人減少（H20対比）		

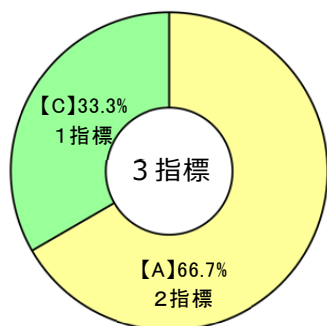
基本方針4 活力に満ちたいわてを実現する分権型行政システムの確立

今後、復興や地域課題対応に向けた地域視点の取組が展開しやすくなるよう、主体的な自治体間連携によって地域の自治の力を高めつつ、地域のことは地域に住む住民が決めるという地方分権改革の理念に沿って地方の自由度を更に拡大する取組を進める必要があります。

そのため、国と地方が本来果たすべき役割を踏まえ、県内市町村との連携協力体制を強化し、共通する地域課題を有する全国の自治体との自治体間連携を推進するとともに、地方分権改革の理念に沿って、地方自治体がより一層主体性を発揮できるよう国に働きかけていきます。

1 平成 28 年度末における指標の達成状況

推進項目ごとに設定した3指標のうち、2指標（66.7%）が「達成【A】」となりました。



【グラフの見方】

- 指標の達成度ごとの構成比と指標数を表示しています。  
※構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。
- 指標の「達成度」は、各年度の目標値に対する達成率（%）に応じて次のとおり判定しています。

目標達成率	100%以上	80%以上 100%未満	60%以上 80%未満	60%未満
達成度	達成【A】	概ね達成【B】	やや遅れ【C】	遅れ【D】

2 取組状況（平成 28 年度取組実績）

(1) 復興や地域課題対応に向けた連携の推進

- ・ 知事と市町村長による「県と市町村との意見交換会」や、県幹部職員と副市町村長による「県市町村連携推進会議」の開催等を通じて市町村との連携強化に努めました。  
また、広域振興局において、地域経営推進費や広域振興事業を活用し、市町村と連携して地域課題の解決に取り組みました。
- ・ 県市長会、県町村会、総務省、復興庁等関係機関の協力を得ながら東日本大震災津波の被災市町村への応援派遣職員の確保に努め、平成 28 年度分として本県職員を含め 695 人の応援派遣職員を確保しました。
- ・ 台風第 10 号による被害が特に大きかった岩泉町に、現地対策本部とそれに続く現地対策課を設置し、町の支援を行いました。また、宮古市、久慈市及び岩泉町が組織する「平成 28 年台風第 10 号豪雨災害復旧・復興期成同盟会」と合同で国への要望を実施しました。
- ・ 県市長会、県町村会等と連携して台風第 10 号災害の被災市町村への職員派遣に係る調整を行い、平成 28 年度分として短期派遣延べ 1,708 人日、中長期派遣 10 人の応援派遣職員を確保しました。

#### 基本方針4 活かに満ちたいわてを実現する分権型行政システムの確立

- ・ 全国知事会や北海道東北地方知事会等と連携し、復興や地方創生について国への提言活動を実施しました。
- ・ 「いわて三陸復興フォーラム」の開催等を通じ、防災・復興に関する取組等について全国に情報発信するとともに、復興に向けた人的ネットワークの強化に努めました。  
また、東日本大震災津波で得られたノウハウを熊本地震への対応に活かしてもらうため、熊本県に職員を派遣し、災害廃棄物の事務処理等に関し、東日本大震災津波発災時の組織体制、国・市町村との連携のあり方、国庫補助制度の処理方法等について、情報提供やアドバイス等を行いました。

#### (2) 地方分権改革の推進

- ・ 地方分権改革に関する提案募集方式による権限移譲・規制緩和を4件実現するとともに、市町村との合意に基づき延べ88事務の権限移譲を実施しました。

◆ 目標及び工程表

【記載内容】

- ① 推進項目ごとに指標を定め、毎年度の目標値を設定しており、実績については平成28年度実績まで記載しています。
- ② 指標の「達成度」は、各年度の目標値に対する達成率（％）に応じて次のとおり判定しています。  
「達成【A】」:100%以上、「概ね達成【B】」:80%以上100%未満、「やや遅れ【C】」:60%以上80%未満、「遅れ【D】」:60%未満
- ③ 「取組内容」欄に記載した取組の工程について、各年度欄に四角囲みで計画を、その下に文章で取組実績を記載しています。  
複数年にわたり継続する取組については、矢印で取組期間を示しています。
- ④ 今後、取組状況や環境変化等を踏まえて取組内容の柔軟な見直しを行い、計画の着実な推進を図るとともに、新たな課題に迅速かつ的確に対応していきます。

(1) 復興や地域課題対応に向けた連携の推進

① 市町村との連携協力体制の強化

指標	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
		(H27)	(H28)	(H29)	
市町村長・副市町村長との意見交換等の開催回数 (回/年)	目標		2	2	2
	実績	2	2	2	
	達成度		A	A	

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・知事と市町村長との意見交換会	県政の重要課題に関する知事と市町村長との意見交換会の実施				
		県と市町村との意見交換会開催 (H28. 1. 15、知事、関係部局長等及び市町村長)	県と市町村との意見交換会開催 (H29. 1. 20、知事、副知事、関係部局長等及び市町村長)		
・県市町村連携推進会議	県幹部職員と副市町村長による県市町村連携推進会議の実施				
		県市町村連携推進会議開催 (H27. 7. 21、県関係部局長等及び副市町村長)	県市町村連携推進会議開催 (H28. 4. 22、県関係部局長等及び副市町村長)		
・被災市町村への職員派遣	県内外の自治体等から被災市町村への職員派遣に係る県市長会・県町村会・総務省・復興庁等の関係機関との調整及び応援派遣職員のメンタルヘルスケア等のサポート				
		・応援職員確保数 H27年度：715人 H28. 4月：672人 ・メンタルヘルスケア研修：3回 ・フォローアップ面談：2回	・応援職員確保数 H28年度：695人 H29. 4月：632人 ・メンタルヘルスケア研修：3回 ・フォローアップ面談：2回		
・被災市町村の復興事業実施等の支援	被災市町村が復興特別区域法に基づき策定する計画の策定や復興計画に基づく事業実施に当たって技術的な助言等の支援				
		復興整備計画策定（変更を含む）延べ市町村数：21市町村	復興整備計画策定（変更を含む）延べ市町村数：12市町村		
・平成28年台風第10号により被災した市町村の支援	台風第10号の被災市町村に対する内陸市町村等からの職員派遣に係る調整等による支援				
			・岩泉町に現地災害対策本部を設置 (H28. 9. 2) ・台風災害復旧復興推進室を設置し、現地対策課職員2名を岩泉町に配置 (H29. 9. 23) ・被災市町村との合同による国への要望を実施 (H28. 10. 19) ・応援職員確保数 H28年度： 短期延べ1,708人 日、中長期10人 H29. 4月：14人		

基本方針4 活力に満ちたいわてを実現する分権型行政システムの確立

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・市町村行財政コンサルティング ・広域振興局と市町村との連携	市町村行財政コンサルティングの実施				
		・総合診断：2町 ・沿岸被災市町村向け：12市町村、2回 ・その他：19市町村	・総合診断：希望なし ・沿岸被災市町村向け：12市町村、1回 ・その他：21市町村 ・台風第10号被災市町村向け：3市町		
地域経営推進費、広域振興事業の実施による連携					
		・地域経営推進費（県事業）：122事業、207,862千円 ・地域経営推進費（市町村事業）：109事業、223,883千円 ・広域振興事業：13事業、133,091千円	・地域経営推進費（県事業）：117事業、183,316千円 ・地域経営推進費（市町村事業）：125事業、210,039千円 ・広域振興事業：14事業、134,407千円		

② 県外自治体との連携

指標	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
		(H27)	(H28)	(H29)	
県外自治体との連携会議への参加回数（回／年）	目標	5	5	5	5
	実績	5	6	3	
	達成度		A	C	

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・自治体間連携の推進	北海道・北東北サミットにおける連携				
		第19回サミット開催 (H27. 11. 16北海道、北海道新幹線開業を契機とした交流拡大について合意)	サミット中止 (H28. 8. 30台風第10号接近のため)		
	北海道東北地方知事会議における連携				
		北海道東北地方知事会議開催 (H27. 10. 28岩手県、「東日本大震災からの復興、災害に強い国づくり」「地方創生」について協議、決議文及び提言を採択)	北海道東北地方知事会議開催 (H28. 10. 26宮城県、「東日本大震災からの復興、災害に強い国づくり」「活力ある地域づくり」について協議、決議文及び提言を採択)		
全国知事会議における連携					
		全国知事会議開催 (①H27. 4. 20東京都、②H27. 7. 28～29岡山県、③H27. 11. 27東京都、④H27. 12. 17東京都、地方創生等について協議、提言を採択)	全国知事会議開催 (①H28. 7. 28～29福岡県、②H28. 11. 28東京都、③H29. 2. 15書面開催、地方創生等について協議、提言を採択)		

基本方針4 活力に満ちたいわてを実現する分権型行政システムの確立

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・ 応援派遣職員等を通じた連携の推進	全国の都道府県等からの応援派遣職員等を通じた教訓や防災・復興に関する取組等の提供				
		・ 本県への応援派遣を終え、派遣元へ帰任した職員の数（H24年度からの累計）：631人 ・ いわて三陸復興フォーラムの開催：県内1回、県外1回	・ 本県への応援派遣を終え、派遣元へ帰任した職員の数（H24年度からの累計）：755人 ・ いわて三陸復興フォーラムの開催：県内1回、県外1回 ・ 熊本地震により被災した熊本県に職員を派遣して情報提供・アドバイス等を実施 テーマ：災害廃棄物の事務処理、応急仮設住宅の整備、児童生徒の心のケア、避難所の運営支援等 情報提供内容：東日本大震災津波発災時の組織体制、国・市町村との連携のあり方、国庫補助制度の活用等		

(2) 地方分権改革の推進

① 地方分権改革の推進

指標	現状値(H26)	年度目標値			計画目標値(H30)
		(H27)	(H28)	(H29)	
本県が提案した権限移譲や規制緩和の実現項目数(件・累計)	1	4	5	6	7
目標		4	5	6	7
実績		4	8		
達成度		A	A		

取組内容	～H26	H27	H28	H29	H30
・ 地方分権改革に関する提案募集方式による、権限移譲や規制緩和の実現	地方分権改革に関する提案の実施				
		H27実現数：3件 【内訳】 H26提案分：2件 H27提案分：1件	H28実現数：4件 【内訳】 H27提案分：1件 H28提案分：3件		
・ 市町村への権限移譲	市町村と協議の上、合意に基づく権限移譲の実施				
		【H28当初】 延べ90事務を移譲（合計：1,431項目、10,034事務）	【H29当初】 延べ88事務を移譲（合計：1,408項目、9,982事務） ※合計が異なるのは、法令改正による減等があることによるもの		
・ 全国知事会等と連携した要請等	全国知事会、北海道東北地方知事会等を通じた要請等（随時実施）				
		・ 全国知事会において地方創生等について要請（H27.7.29） ・ 北海道東北地方知事会において「地方創生の推進」等を要請（H27.7.16）、「地方創生の推進に関する決議」に係る要請（H27.11.5）	・ 北海道東北地方知事会において「地方創生の積極的な推進」等を要請（H28.8.23、H28.11.21）、「経済対策の策定に向けた緊急要請」（H28.7.21～26）、「平成28年8月からの台風などによる大雨災害等に係る緊急要望」（H28.8.23～10.24）		





# 資料編

**資料 1** [行政経営編] 指標一覧表

**資料 2** 行財政運営概況

**資料 3** 県と民間との連携協定締結状況



資料1 [行政経営編] 指標一覧表

基本方針1 いわての未来づくりを支える専門集団への更なる進化

具体的な推進項目		指標名	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)	
				(H27)	(H28)	(H29)		
(1) 復興や地域課題に取り組む体制の充実	① 復興や地域課題対応を重点とする組織体制の整備	新規需要等に対応する庁内再配置数(人/年)	目標 7	16	53	2	20	
		実績	21	102				
		達成度	A	A				
	② 復興や地域課題対応を担う人材の確保	採用予定数の充足率(%)	目標 84.9	100.0	100.0	100.0	100.0	
		実績	79.2	90.3				
		達成度	C	B				
	③ 職員育成の充実	管理監督者(主査以上)に占める女性割合(%)	目標 14.1	15.9	17.1	18.3	19.5	
		実績	15.4	17.0				
		達成度	B	B				
	④ 職場環境の整備	男性職員の育児休業等取得率(%)	目標	93.8	93.8	100.0	100.0	100.0
			実績	93.6	91.2			
			達成度	B	B			
各種メンタルヘルス研修会の開催回数(回/年)		目標	8	8	8	8	8	
		実績	8	9				
		達成度	A	A				
(2) 県民の期待と信頼に応える行政サービスの提供	① 岩手県職員憲章の実践	G・Iグランプリへの新規取組登録件数(件/年)	目標 78	80	80	80	80	
		実績	90	108				
		達成度	A	A				
	② 政策形成機能の強化	いわて県民計画アクションプランに掲げる「具体的推進方策指標」の達成度Dに関して対応した割合(%)	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	
			実績	100.0	100.0			
			達成度	A	A			
		男女いずれか一方の委員の数が委員総数の40%未満にならない審議会等の割合(%)	目標	60.3	63.5	66.8	70.1	73.4
			実績	57.5	58.7			
			達成度	D	D			
	③ 県民サービスの利便性の向上	県税を納税することができるコンビニエンスストアのチェーン数(チェーン)	目標	5	5	12	12	
			実績	5	5			
		電子申請利用件数(件/年)	目標	7,803	9,300	11,000	13,200	15,800
実績			7,924	9,670				
④ 公営企業のサービス品質向上	【医療局】	紹介率(%) (中央及び基幹病院)	目標	51.8	50.0	51.0	51.0	52.0
			実績	52.1	55.0			
			達成度	A	A			
		逆紹介率(%) (中央及び基幹病院)	目標	57.8	39.0	40.0	40.0	41.0
			実績	59.4	61.7			
			達成度	A	A			
	【企業局】	新規招聘医師数(人/年)	目標	9	10	10	10	
			実績	6	9			
			達成度	C	B			
	【電気事業】	供給電力量(MWh/年)	目標	544,203	557,771	530,927	575,488	594,631
			実績	569,635	542,537			
			達成度	A	A			
【工業用水道事業】	基本料金算定水量(千立方m/年)	目標	14,012	14,051	14,304	14,304	15,764	
		実績	14,250	14,304				
		達成度	A	A				
⑤ 行政運営の透明性の向上	自主的公表新規実施・充案件数(件/年)	目標	1	0	1	1	1	
		実績	0	1				
		達成度	—	A				
⑥ 公共調達最適化	「県が締結する契約に関する条例」の基本理念を実現するための県の取組公表回数(回/年)	目標	—	1	1	1	1	
		実績	1	1				
		達成度	A	A				
⑦ 適正な事務処理の確保	補助事業及び委託事業に係るよろず相談等対応数(件)	目標	39	48	48	48	48	
		実績	39	196				
		達成度	B	A				
⑧ 監査機能の強化	監査実施率(%)	目標	100.0	100.0	100.0	100.0		
		実績	100.0	100.0				
		達成度	A	A				
⑨ 危機管理体制の強化	各部局・各地方支部における危機管理に関する研修等の実施割合(%)	目標	—	100.0	100.0	100.0	100.0	
		実績	100.0	100.0				
		達成度	A	A				

## 基本方針2 多様な主体の連携・協働による公共サービスの提供

具体的な推進項目		指標名		現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)	
					(H27)	(H28)	(H29)		
(1) 県と多様な主体との連携・協働の取組	① 開かれた復興の推進	被災地で設立されたNPO団体数(団体/年)	目標	4	5	5	5	/	
			実績		6	6			
			達成度		A	A			
	② 県民総参加による第71回国民体育大会・第16回全国障害者スポーツ大会の開催	運営ボランティア登録者数(人・累計)	目標	-	5,380	5,380			
			実績		8,229	8,229			
			達成度		A	A			
(2) 公共サービスの連携・協働の輪を広げる環境の整備	① NPO等の運営基盤強化	県民活動交流センター利用登録団体数(団体)	目標	409	430	450	470	490	
			実績		439	459			
			達成度		A	A			
	② 地域コミュニティの活動促進	元気なコミュニティ特選団体数(団体・累計)	目標	137	142	147	152	157	
			実績		142	157			
			達成度		A	A			
	③ 地方独立行政法人の目標達成支援	【公立大学法人岩手県立大学】 【地方独立行政法人岩手県工業技術センター】	年度業務実績の項目別評価結果がB評価以上の項目の割合(%)	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
				実績		100.0	100.0		
				達成度		A	A		
	④ 県出資等法人の目標達成支援	事業目標の達成割合が50%以上の法人の割合(%)	目標	89.3	85.0	85.0	85.0	85.0	
			実績		96.4	96.4			
			達成度		A	A			
	⑤ 指定管理者制度導入施設のサービス向上	管理運営状況評価中「サービスの質」がA評価の施設の割合(%)	目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	
			実績		80.0	88.0			
			達成度		A	A			
	⑥ オープンデータの推進	オープンデータ公開項目数(件/累計)	目標	0	0	5	17	30	
			実績		0	11			
			達成度		-	A			

## 基本方針3 いわてを支える持続可能な財政構造の構築

具体的な推進項目		指標名		現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
					(H27)	(H28)	(H29)	
(1) 歳入確保の強化	① 県税収入の確保	整理対象収入未済額(百万円)	目標	288	282	275	269	263
			実績		260	217		
			達成度		A	A		
	② 滞納債権対策の強化	現年度分滞納債権の徴収率(%)	目標	81.4	81.4	81.4	81.4	81.4
			実績		86.5	82.7		
			達成度		A	A		
	③ 県有資産の有効活用	ネーミングライツ新規契約数(件/年)	目標	0	0	1	1	1
			実績		1	0		
			達成度		A	D		
	④ 受益者負担の適正化	未利用資産の売却数(件/年)	目標	31	14	14	14	14
			実績		19	30		
			達成度		A	A		
⑤ 受益者負担の適正化	使用料及び手数料の改定検討基準による点検率(%)	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		実績		100.0	100.0			
		達成度		A	A			
(2) 歳出の重点化と将来負担の軽減	① 投資的経費の見直し	普通建設事業所管部局に対する震災対応以外の投資的経費の点検率(%)	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績		100.0	100.0		
			達成度		A	A		
	② 補助金・負担金の見直し	見直しの対象となる県単補助金等の点検率(%)	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績		100.0	100.0		
			達成度		A	A		
	③ 公債費負担の適正管理	実質公債費比率(%)	目標	20.4	20.7	20.3	19.9	19.1
			実績		20.5	19.7		
			達成度		A	A		
	④ 公共施設等の長寿命化	公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定割合(%)	目標	0.0	0.0	12.5	25.0	50.0
			実績		0.0	27.3		
			達成度		-	A		
	⑤ 情報システムの最適化	汎用機のオープンシステムへの切替件数(件/累計)	目標	0	1	1	1	2
			実績		1	1		
			達成度		A	A		

## 基本方針4 活力に満ちたいわてを実現する分権型行政システムの確立

具体的な推進項目		指標名	現状値 (H26)	年度目標値			計画目標値 (H30)
				(H27)	(H28)	(H29)	
(1) 復興や地域課題対応に向けた連携の推進	① 市町村との連携協力体制の強化	市町村長・副市町村長との意見交換等の開催回数（回／年）	目標	2	2	2	2
			実績	2	2		
			達成度	A	A		
	② 県外自治体との連携	県外自治体との連携会議への参加回数（回／年）	目標	5	5	5	5
			実績	6	3		
			達成度	A	C		
(2) 地方分権改革の推進	③ 地方分権改革の推進	本県が提案した権限移譲や規制緩和の実現項目数（件・累計）	目標	4	5	6	7
			実績	4	8		
			達成度	A	A		

## 資料2 行財政運営概況

この表は、本県の職員体制や財政状況などの行財政の運営状況をわかりやすく数値で示すために作成したものです。

指 標	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
① 職員数（県全体）	24,784	人 100.0%	25,125	人 100.0%	25,028	人 100.0%	25,000	人 100.0%
ア 知事部局 ※1	3,949	人 15.9%	4,151	人 16.5%	4,288	人 17.1%	4,400	人 17.6%
イ 教育委員会	13,371	人 54.0%	13,339	人 53.1%	13,143	人 52.5%	12,945	人 51.8%
ウ 警察	2,420	人 9.8%	2,558	人 10.2%	2,494	人 10.0%	2,493	人 10.0%
エ その他の委員会	91	人 0.4%	90	人 0.4%	94	人 0.4%	92	人 0.4%
オ 医療局 ※2	4,825	人 19.5%	4,862	人 19.4%	4,882	人 19.5%	4,944	人 19.8%
カ 企業局	128	人 0.5%	125	人 0.5%	127	人 0.5%	126	人 0.5%
② 歳入予算（財源別） ※3	681,599	百万円 100.0%	1,118,330	百万円 100.0%	1,151,702	百万円 100.0%	1,016,750	百万円 100.0%
ア 自主財源 （県税、繰入金、諸収入等）	259,501	百万円 38.1%	478,750	百万円 42.8%	541,035	百万円 47.0%	421,742	百万円 41.5%
県税	100,415	百万円 (14.7%)	100,920	百万円 (9.0%)	110,009	百万円 (9.6%)	111,003	百万円 (10.9%)
諸収入	84,698	百万円 (12.4%)	249,516	百万円 (22.3%)	277,715	百万円 (24.1%)	155,273	百万円 (15.3%)
その他	74,388	百万円 (10.9%)	128,314	百万円 (11.5%)	153,311	百万円 (13.3%)	155,466	百万円 (15.3%)
イ 依存財源 （地方交付税、国庫支出金、県債等）	422,098	百万円 61.9%	639,580	百万円 57.2%	610,667	百万円 53.0%	595,008	百万円 58.5%
③ 歳出予算（性質別） ※3	681,599	百万円 100.0%	1,118,330	百万円 100.0%	1,151,702	百万円 100.0%	1,016,750	百万円 100.0%
ア 義務的経費 （人件費、扶助費、公債費）	314,773	百万円 46.2%	319,513	百万円 28.6%	320,717	百万円 27.8%	323,076	百万円 31.8%
人件費	182,845	百万円 (26.8%)	183,660	百万円 (16.4%)	180,913	百万円 (15.7%)	178,304	百万円 (17.5%)
扶助費	13,249	百万円 (1.9%)	13,234	百万円 (1.2%)	12,385	百万円 (1.1%)	12,261	百万円 (1.2%)
公債費	118,679	百万円 (17.4%)	122,619	百万円 (11.0%)	127,419	百万円 (11.1%)	132,512	百万円 (13.0%)
イ 投資的経費 （普通建設、災害復旧、失業対策）	113,634	百万円 16.7%	436,407	百万円 39.0%	426,171	百万円 37.0%	323,863	百万円 31.9%
ウ その他経費 （物件費、補助費、貸付金等）	253,192	百万円 37.1%	362,409	百万円 32.4%	404,814	百万円 35.1%	369,811	百万円 36.4%
④ 主要三基金残高 ※4 ※5 （H24以降は財源対策三基金）	30,091	百万円 100.0%	81,256	百万円 100.0%	66,227	百万円 100.0%	71,037	百万円 100.0%
ア 財政調整基金	14,011	百万円 46.6%	38,703	百万円 47.6%	22,916	百万円 34.6%	31,501	百万円 44.3%
イ 県債管理基金	12,204	百万円 40.6%	38,700	百万円 47.6%	39,456	百万円 59.6%	35,679	百万円 50.2%
ウ 公共施設等整備基金 （23年度末廃止）	3,876	百万円 12.9%	0	百万円 0.0%	0	百万円 0.0%	0	百万円 0.0%
エ 地域振興基金	—	百万円 —	3,853	百万円 4.7%	3,855	百万円 5.8%	3,857	百万円 5.4%
⑤ 県債残高 ※6	14,574	億円	14,467	億円	14,265	億円	13,889	億円
⑥ 実質赤字比率 ※7	(H22決算) — (なし) %		(H23決算) — (なし) %		(H24決算) — (なし) %		(H25決算) — (なし) %	
⑦ 連結実質赤字比率 ※7	(H22決算) — (なし) %		(H23決算) — (なし) %		(H24決算) — (なし) %		(H25決算) — (なし) %	
⑧ 実質公債費比率 ※7	(H22決算) 15.6 %		(H23決算) 17.6 %		(H24決算) 18.6 %		(H25決算) 19.4 %	
⑨ 将来負担比率 ※7	(H22決算) 286.1 %		(H23決算) 260.1 %		(H24決算) 257.7 %		(H25決算) 246.2 %	

注記しているものを除いて、各年度の4月1日現在の数値です。また、各項目の数値は、端数処理の関係で合計値が一致しないことがあります。

※1 職員数には、他県等応援職員数（平成24年度136人、平成25年度160人、平成26年度161人）を含みます。

※2 職員数には、5月1日付採用の医療技術職員数（平成23年度102人、平成24年度118人、平成25年度115人、平成26年度125人）を含みます。

※3 注記しているものを除いて、各年度の当初予算の数値です。各項目については、表示単位未満を四捨五入したものであり、その内訳は、合計と一致しない場合があります。

※4 ④主要三基金（財源対策三基金）残高については、前年度末の数値であり、満期一括償還地方債に充てる積立金、公共投資臨時交付金に係る積立金及び地域の元気臨時交付金に係る積立金を差し引いた数値です。

※5 平成23年度までは、財政調整基金、県債管理基金及び公共施設等整備基金の三基金を「主要三基金」としていましたが、公共施設等整備基金の廃止に伴い、平成24年度からは、財政調整基金、県債管理基金及び地域振興基金の三基金を「財源対策三基金」としています。

※6 ⑤県債残高については、一般会計当初予算の起債額及び元金償還額からの推計額です。

※7 ⑥実質赤字比率（3.75%）、⑦連結実質赤字比率（8.75%）、⑧実質公債費比率（25%）、⑨将来負担比率（400%）は、財政健全化法に基づく健全化判断比率です。（ ）書きは、早期健全化基準値です。

指 標	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
① 職員数（県全体）	24,966	人 100.0%	25,060	人 100.0%	24,958	人 100.0%
ア 知事部局 ※8	4,414	人 17.7%	4,440	人 17.7%	4,438	人 17.8%
イ 教育委員会	12,851	人 51.5%	12,827	人 51.2%	12,697	人 50.9%
ウ 警察	2,475	人 9.9%	2,477	人 9.9%	2,469	人 9.9%
エ その他の委員会 ※9	92	人 0.4%	93	人 0.4%	95	人 0.4%
オ 医療局 ※10	5,006	人 20.1%	5,093	人 20.3%	5,124	人 20.5%
カ 企業局	128	人 0.5%	130	人 0.5%	135	人 0.5%
② 歳入予算（財源別）	1,111,190	百万円 100.0%	1,066,107	百万円 100.0%	979,733	百万円 100.0%
ア 自主財源 （県税、繰入金、諸収入等）	457,651	百万円 41.2%	433,582	百万円 40.7%	412,884	百万円 42.1%
県税	126,187	百万円 (11.4%)	128,665	百万円 (12.1%)	132,735	百万円 (13.5%)
諸収入	157,373	百万円 (14.2%)	158,287	百万円 (14.8%)	157,625	百万円 (16.1%)
その他	174,090	百万円 (15.7%)	146,630	百万円 (13.8%)	122,523	百万円 (12.5%)
イ 依存財源 （地方交付税、国庫支出金、県債等）	653,540	百万円 58.8%	632,525	百万円 59.3%	566,849	百万円 57.9%
③ 歳出予算（性別別）	1,111,190	百万円 100.0%	1,066,107	百万円 100.0%	979,733	百万円 100.0%
ア 義務的経費 （人件費、扶助費、公債費）	324,172	百万円 29.2%	317,967	百万円 29.8%	315,576	百万円 32.2%
人件費	181,385	百万円 (16.3%)	182,432	百万円 (17.1%)	182,327	百万円 (18.6%)
扶助費	12,973	百万円 (1.2%)	12,875	百万円 (1.2%)	12,376	百万円 (1.3%)
公債費	129,814	百万円 (11.7%)	122,659	百万円 (11.5%)	120,872	百万円 (12.3%)
イ 投資的経費 （普通建設、災害復旧、失業対策）	388,805	百万円 35.0%	348,014	百万円 32.6%	282,501	百万円 28.8%
ウ その他経費 （物件費、補助費、貸付金等）	398,214	百万円 35.8%	400,127	百万円 37.5%	381,656	百万円 39.0%
④ 主要三基金残高 （H24以降は財源対策三基金）	62,658	百万円 100.0%	56,913	百万円 100.0%	45,364	百万円 100.0%
ア 財政調整基金	29,103	百万円 46.4%	28,336	百万円 49.8%	22,786	百万円 50.2%
イ 県債管理基金	30,196	百万円 48.2%	25,216	百万円 44.3%	19,216	百万円 42.4%
ウ 公共施設等整備基金 （23年度末廃止）	0	百万円 0.0%	0	百万円 0.0%	0	百万円 0.0%
エ 地域振興基金	3,359	百万円 5.4%	3,361	百万円 5.9%	3,362	百万円 7.4%
⑤ 県債残高	13,494	億円	13,105	億円	12,920	億円
⑥ 実質赤字比率	(H26決算) －(なし) %		(H27決算) －(なし) %		(H28決算) 未確定 %	(H29.9月 確定予定)
⑦ 連結実質赤字比率	(H26決算) －(なし) %		(H27決算) －(なし) %		(H28決算) 未確定 %	(H29.9月 確定予定)
⑧ 実質公債費比率	(H26決算) 20.4 %		(H27決算) 20.5 %		(H28決算) 未確定 %	(H29.9月 確定予定)
⑨ 将来負担比率	(H26決算) 236.3 %		(H27決算) 224.6 %		(H28決算) 未確定 %	(H29.9月 確定予定)

注記しているものを除いて、各年度の4月1日現在の数値です。また、各項目の数値は、端数処理の関係で合計値が一致しないことがあります。

※8）職員数には、他県等応援職員数（平成27年度169人、平成28年度162人、平成29年度126人）を含みます。

※9）職員数には、他県等応援職員数（平成29年度1人（取用委員会事務局））を含みます。

※10）職員数には、5月1日付採用の医療技術職員数（平成27年度156人、平成28年度166人、平成29年度140人）を含みます。

## 資料3 県と民間との連携協定締結状況

分類	No.	協定の名称	協定の相手方	協定の内容	協定締結年月日
包括協定	1	地域協働事業に係る包括協定	株式会社ローソン	いわて公共サービス・マッチングシステムによる複数分野における連携協定	H20. 6. 23
	2	連携と協力に関する包括協定	株式会社サークルKサンクス	いわて公共サービス・マッチングシステムによる複数分野における連携協定	H21. 6. 1
	3	地域活性化包括連携協定	株式会社セブン-イレブン・ジャパン 株式会社イトーヨーカ堂	いわて公共サービス・マッチングシステムによる複数分野における連携協定	H21. 11. 13
	4	地域活性化包括連携協定	イオン株式会社	いわて公共サービス・マッチングシステムによる複数分野における連携協定	H23. 2. 16
	5	地域活性化包括連携協定	株式会社ファミリーマート	いわて公共サービス・マッチングシステムによる複数分野における連携協定	H25. 1. 22
	6	包括的連携協定	東日本高速道路株式会社	いわて公共サービス・マッチングシステムによる複数分野における連携協定	H26. 7. 23
	7	地域包括連携協定	ヤマト運輸株式会社	いわて公共サービス・マッチングシステムによる複数分野における連携協定	H28. 5. 16
	8	東日本大震災津波からの復興及びふるさと振興に関する包括連携協定	東京海上日動火災保険株式会社	いわて公共サービス・マッチングシステムによる複数分野における連携協定	H28. 9. 21
	9	ふるさと振興に関する包括連携協定	三井住友海上火災保険株式会社	いわて公共サービス・マッチングシステムによる複数分野における連携協定	H29. 3. 14
個別協定	1	岩手県における人工衛星を用いた防災利用実証実験に関する協定	独立行政法人宇宙航空研究開発機構	災害情報の収集・伝達手段としての人工衛星の有用性の検証	H24. 4. 27
	2	連携と協力に関する協定	楽天株式会社	楽天市場における「まち楽岩手」の開設、ITを活用した観光物産PR及び地域活性化	H21. 6. 24
	3	原子力発電所に係る県民の安全確保のための情報連絡等に関する協定書	東北電力株式会社	女川及び東通原子力発電所における原子力災害発生時の安全確保のための情報連絡	H25. 3. 28
	4	基幹的農業水利施設の突発事故発生時における緊急補修工事に関する協定	一般社団法人岩手県建設業協会、一般社団法人岩手県空調衛生工事業協会	農業水利施設の緊急補修工事に関する協定	H25. 3. 29
	5	覚書	日本マイクロソフト株式会社	地域活性化協働プログラムポータルサイトの活用	H25. 7. 9
	6	防災の取り組みに関する協定書	Google Ireland Limited	大規模災害時に県が提供する災害情報をGoogleの災害対応サービスに反映させることにより、県の災害広報に協力	H25. 7. 24
	7	岩手県の健康づくりの推進に向けた連携に関する覚書	協会けんぽ岩手支部	健康づくりの推進に関する協定	H26. 3. 27
	8	岩手県沿岸広域振興局と東日本大震災津波からの産業復興に向けたアライアンス	ブライスウォーターハウス クーパーズ株式会社	東日本大震災津波からの産業復興に関する協定	H26. 9. 11
	9	岩手県BCP（事業継続計画）策定支援に関する協定書	東京海上日動火災保険株式会社、岩手県商工会議所連合会、岩手県商工会連合会、岩手県中小企業団体中央会	BCP策定支援に関する協定	H26. 11. 28
	10	災害に係る情報発信等に関する協定	ヤフー株式会社	Yahooサービスを活用した避難場所等の掲載、キャッシュサイトの作成	H26. 12. 11
	11	岩手県がん検診受診率向上プロジェクト協定	株式会社岩手銀行、東京海上日動火災保険株式会社、アフラック、協会けんぽ岩手支部、第一生命保険株式会社、株式会社IBC岩手放送、日本生命保険相互会社盛岡支社、朝日生命保険相互会社盛岡支社	がん検診受診率向上に関する協定	H29. 3. 24
	12	東京大学生産技術研究所、岩手県及び釜石市との海洋再生可能エネルギー研究に関する連携協力協定	東京大学生産技術研究所、釜石市	海洋再生可能エネルギー研究に関する協定	H27. 3. 26
	13	学校法人文化学園と岩手県との連携協定書	学校法人文化学園	地域活性化に関する協定	H27. 7. 16
	14	岩手県と大正大学地域構想研究所との連携協定書	大正大学地域構想研究所	地域活性化に関する協定	H27. 8. 11
	15	岩手県と株式会社モバイルファクトリーとの連携協定書	株式会社モバイルファクトリー	地域活性化に関する協定	H27. 10. 5
	16	「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に関する協定	岩手大学、岩手県立大学、富士大学、盛岡大学、岩手県立大学盛岡短期大学、岩手県立大学宮古短期大学、一関工業高等専門学校	地方創生に資する人材の県内定着の推進に関する協定	H27. 10. 30
	17	岩手県におけるソーシャルビジネス支援等にかかる協力に関する協定	日本政策金融公庫、東北税理士会岩手県支部連合会、岩手県行政書士会、いわてNPO中間支援ネットワーク	地域活性化に関する協定	H27. 11. 19
	18	健康増進に関する岩手県と大塚製薬株式会社との連携協定	大塚製薬株式会社仙台支店	岩手県民の健康増進に関する取組	H28. 1. 12
	19	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	株式会社ジョイス	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 3. 30
	20	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	株式会社ユニバース	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 3. 30
	21	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	株式会社マルイチ	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 3. 31



## 資料編

分類	No.	協定の名称	協定の相手方	協定の内容	協定締結年月日
個別協定	22	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	医療法人財団正清会	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 3. 31
	23	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	医療法人社団愛生会	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 1
	24	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	医療法人共生会	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 1
	25	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	株式会社サンデー	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 5
	26	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	株式会社コジマ	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 6
	27	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	医療法人社団愛和会 盛岡南 病院	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 6
	28	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	アンドーコーポレーション有 限会社	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 7
	29	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	盛岡南ショッピングセンター サンサ	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 8
	30	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	株式会社マルイチ	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 3. 31
	31	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	医療法人財団正清会	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 3. 31
	32	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	医療法人社団愛生会	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 1
	33	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	医療法人共生会	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 1
	34	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	株式会社サンデー	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 5
	35	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	株式会社コジマ	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 6
	36	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	医療法人社団愛和会 盛岡南 病院	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 6
	37	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	アンドーコーポレーション有 限会社	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 7
	38	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	盛岡南ショッピングセンター サンサ	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 8
	39	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	財団法人みちのく愛隣協会	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 8
	40	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	社団医療法人智徳会	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 12
	41	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	社団医療法人新和会	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 14
	42	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	イオンスーパーセンター一関 店	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 14
	43	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	イオンスーパーセンター盛岡 洪民店	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 15
	44	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	イオンスーパーセンター金ケ 崎店	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 19
	45	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	社団医療法人盛岡繁温泉病院	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 19
	46	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	社会福祉法人新生会	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 22
	47	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	医療（財団）法人仁医会都南 病院	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 23
	48	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	社団医療法人祥和会	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 27
	49	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	社会福祉法人盛岡市社会福祉 協議会	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 27
	50	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	株式会社マイヤ	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 4. 28
	51	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	大和情報サービス株式会社	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 5. 7
	52	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	社会福祉法人大船渡市社会福 祉協議会	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 5. 10
	53	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	大槌商業開発株式会社	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 5. 13
	54	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	医療法人博愛会	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 5. 19
	55	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	一般財団法人宮古市体育協会	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 5. 20
	56	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	協同組合一戸ショッピングセ ンター	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 6. 3
	57	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	株式会社菅文	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 6. 4
	58	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	オリックス株式会社	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 6. 15
	59	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	社団医療法人祐和会	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 6. 17
	60	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	社会福祉法人北上市社会福祉 協議会	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 6. 25
	61	ひとにやさしい駐車場利用証制度 指定駐車施設に関する協定	岩手医科大学附属花巻温泉病 院	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 9. 16

## 資料編

分類	No.	協定の名称	協定の相手方	協定の内容	協定締結年月日
個別協定	62	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	社団医療法人法成会	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 10. 26
	63	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	株式会社社新鉛温泉	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 11. 8
	64	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	東北労働金庫北上支店	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 11. 8
	65	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	株式会社ベルプラス	指定駐車施設の管理に関する協定	H22. 12. 20
	66	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	社会福祉法人楽水会	指定駐車施設の管理に関する協定	H23. 1. 19
	67	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	株式会社社東北銀行	指定駐車施設の管理に関する協定	H23. 1. 20
	68	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	モスビル共同事業体	指定駐車施設の管理に関する協定	H23. 1. 27
	69	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	盛岡ながの脳神経・歯科クリニック	指定駐車施設の管理に関する協定	H23. 1. 28
	70	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	社会福祉法人堤福祉会	指定駐車施設の管理に関する協定	H23. 2. 7
	71	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	社会福祉法人陽風会	指定駐車施設の管理に関する協定	H23. 2. 15
	72	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	花泉観光開発株式会社	指定駐車施設の管理に関する協定	H23. 2. 15
	73	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	はしば歯科医院	指定駐車施設の管理に関する協定	H23. 2. 21
	74	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	イオンモール株式会社	指定駐車施設の管理に関する協定	H23. 3. 2
	75	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	イオンリテール株式会社イオンモール盛岡南	指定駐車施設の管理に関する協定	H23. 3. 2
	76	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	小野寺子ども医院	指定駐車施設の管理に関する協定	H23. 3. 2
	77	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	協働組合遠野商業開発	指定駐車施設の管理に関する協定	H23. 3. 2
	78	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	菅整形外科医院	指定駐車施設の管理に関する協定	H23. 3. 7
	79	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	医療法人社団松誠会	指定駐車施設の管理に関する協定	H23. 3. 7
	80	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	口内郵便局	指定駐車施設の管理に関する協定	H23. 3. 11
	81	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	株式会社ジュリアン	指定駐車施設の管理に関する協定	H23. 3. 11
	82	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	マックスバリュ北東北株式会社マックスバリュ花巻店	指定駐車施設の管理に関する協定	H23. 3. 22
	83	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	医療法人前田皮膚科医院	指定駐車施設の管理に関する協定	H23. 4. 12
	84	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	東北労働金庫奥州支店	指定駐車施設の管理に関する協定	H23. 11. 7
	85	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	株式会社テルコーポレーション	指定駐車施設の管理に関する協定	H24. 9. 18
	86	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	医療法人正康会	指定駐車施設の管理に関する協定	H24. 12. 18
	87	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	協同組合矢巾商業開発	指定駐車施設の管理に関する協定	H24. 12. 18
	88	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	医療法人社団恵仁会	指定駐車施設の管理に関する協定	H24. 12. 19
	89	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	財団法人盛岡地域地場産業振興センター	指定駐車施設の管理に関する協定	H24. 12. 25
	90	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	社団医療法人啓愛会	指定駐車施設の管理に関する協定	H24. 12. 27
	91	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	公益財団法人盛岡市体育協会	指定駐車施設の管理に関する協定	H24. 12. 27
	92	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	株式会社Aコープ北東北	指定駐車施設の管理に関する協定	H25. 1. 10
	93	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	株式会社紫波まちづくり企画	指定駐車施設の管理に関する協定	H25. 2. 6
	94	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	大和リース株式会社岩手支店	指定駐車施設の管理に関する協定	H25. 2. 12
	95	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	医療法人希望会	指定駐車施設の管理に関する協定	H25. 2. 27
96	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	盛岡赤十字病院	指定駐車施設の管理に関する協定	H25. 7. 31	
97	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	社会福祉法人岩手町社会福祉協議会	指定駐車施設の管理に関する協定	H25. 11. 14	
98	企業の森づくり活動にかかる協定	株式会社永和、葛巻町	企業の森づくり活動	H21. 10. 10	
99	企業の森づくり活動にかかる協定	株式会社藤村商会、紫波町、NPO法人紫波みらい研究所	企業の森づくり活動	H23. 2. 25	
100	企業の森づくり活動にかかる協定	東京エレクトロン東北株式会社、奥州市	企業の森づくり活動	H23. 4. 21	
101	企業の森づくり活動にかかる協定	東北日東工業株式会社、花巻市	企業の森づくり活動	H24. 8. 2	

## 資料編

分類	No.	協定の名称	協定の相手方	協定の内容	協定締結年月日
個別協定	102	企業の森づくり活動に関する協定書	ホームマック株式会社	企業の森づくり活動	H26. 3. 7
	103	企業の森づくり活動にかかる協定	株式会社東芝、北上市	企業の森づくり活動	H26. 4. 1
	104	企業の森づくり活動に関する協定	楽天株式会社、株式会社藤島建設	企業の森づくり活動	H26. 8. 20
	105	企業の森づくり活動にかかる協定	株式会社デンソー岩手	企業の森づくり活動	H27. 1. 20
	106	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	特定非営利活動法人葛巻町体育協会	指定駐車施設の管理に関する協定	H28. 3. 24
	107	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	志戸平温泉株式会社	指定駐車施設の管理に関する協定	H28. 6. 13
	108	ひとにやさしい駐車場利用証制度指定駐車施設に関する協定	医療法人巖心会	指定駐車施設の管理に関する協定	H28. 11. 4
	災害時 応援協定	1	災害時における放送要請に関する協定	日本放送協会盛岡放送局	災害時における応援協定（災害に関する放送）
2		災害時における放送要請に関する協定	株式会社IBC岩手放送	災害時における応援協定（災害に関する放送）	S40. 4. 1
3		災害時における放送要請に関する協定	株式会社テレビ岩手	災害時における応援協定（災害に関する放送）	S46. 2. 1
4		災害時における放送要請に関する協定	株式会社岩手めんこいテレビ	災害時における応援協定（災害に関する放送）	H3. 4. 1
5		災害時における放送要請に関する協定	株式会社岩手朝日テレビ	災害時における応援協定（災害に関する放送）	H8. 10. 1
6		災害時における放送要請に関する協定	株式会社エフエム岩手	災害時における応援協定（災害に関する放送）	S60. 10. 1
7		災害時における報道要請に関する協定	株式会社岩手日報社	災害時における応援協定（災害に関する報道）	H9. 12. 15
8		災害時における報道要請に関する協定	株式会社朝日新聞社盛岡支局	災害時における応援協定（災害に関する報道）	H9. 12. 15
9		災害時における報道要請に関する協定	株式会社毎日新聞社盛岡支局	災害時における応援協定（災害に関する報道）	H9. 12. 15
10		災害時における報道要請に関する協定	株式会社読売新聞社盛岡支局	災害時における応援協定（災害に関する報道）	H9. 12. 15
11		災害時における報道要請に関する協定	株式会社河北新報社盛岡支社	災害時における応援協定（災害に関する報道）	H9. 12. 15
12		災害時における報道要請に関する協定	株式会社産業経済新聞社盛岡支局	災害時における応援協定（災害に関する報道）	H9. 12. 15
13		災害時における報道要請に関する協定	株式会社日本経済新聞社盛岡支局	災害時における応援協定（災害に関する報道）	H9. 12. 15
14		災害時における報道要請に関する協定	株式会社岩手日日新聞社	災害時における応援協定（災害に関する報道）	H9. 12. 15
15		災害時における報道要請に関する協定	株式会社デーリー東北新聞社盛岡支局	災害時における応援協定（災害に関する報道）	H9. 12. 15
16		災害時における報道要請に関する協定	全国新聞情報農業協同組合連合会東北支所	災害時における応援協定（災害に関する報道）	H9. 12. 15
17		災害時における報道要請に関する協定	株式会社日刊工業新聞社盛岡総局	災害時における応援協定（災害に関する報道）	H9. 12. 15
18		災害時における報道要請に関する協定	一般社団法人共同通信社盛岡支局	災害時における応援協定（災害に関する報道）	H9. 12. 15
19		災害時における報道要請に関する協定	株式会社時事通信社盛岡支局	災害時における応援協定（災害に関する報道）	H9. 12. 15
20		アマチュア無線による災害時応援協定	一般社団法人日本アマチュア無線連盟岩手県支部	災害時における応援協定（アマチュア無線の活用）	H26. 3. 10
21		災害時等緊急放送の協力に関する協定	株式会社エフエム岩手	災害時における応援協定（災害に関する緊急放送）	H25. 1. 30
22		災害時における輸送の確保に関する協定	東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社	災害時における応援協定（鉄道輸送）	H8. 12. 24
23		災害時における輸送の確保に関する協定	日本貨物鉄道株式会社東北支社	災害時における応援協定（鉄道輸送）	H3. 12. 24
24		災害時における輸送の確保に関する協定	三陸鉄道株式会社	災害時における応援協定（鉄道輸送）	H8. 12. 24
25		災害時における輸送の確保に関する協定	I GRいわて銀河鉄道株式会社	災害時における応援協定（鉄道輸送）	H17. 6. 9
26		災害時における輸送の確保に関する協定	公益社団法人岩手県バス協会	災害時における応援協定（バス輸送）	H8. 12. 24
27		災害時における救援物資等の緊急輸送に関する協定	公益社団法人岩手県トラック協会	災害時における応援協定（トラック輸送）	H9. 1. 16
28		災害時における救援物資等の緊急輸送に関する協定	赤帽岩手県軽自動車運送協同組合	災害時における応援協定（トラック輸送）	H15. 4. 1
29		災害時における船舶による輸送の確保に関する協定	岩手県漁業協同組合連合会	災害時における応援協定（漁船輸送）	H8. 11. 28
30		災害時における船舶による輸送の確保に関する協定	東北内航海運組合	災害時における応援協定（船舶輸送）	H17. 3. 29
31		災害時における旅客船による輸送等の確保に関する協定	東北旅客船協会	災害時における応援協定（船舶輸送）	H18. 1. 17
32		災害時における航空輸送に関する協定	東邦航空株式会社	災害時における応援協定（航空輸送）	H8. 11. 26
33		災害時における航空輸送に関する協定	北日本航空株式会社	災害時における応援協定（航空輸送）	H8. 11. 26



## 資料編

分類	No.	協定の名称	協定の相手方	協定の内容	協定締結年月日
災害時 応援協定	34	災害時における航空機燃料の調達及び輸送に関する協定	株式会社宮澤商店	災害時における応援協定（航空燃料調達等）	H10. 1. 13
	35	大規模災害時における航空機への給油に関する協定	弘済企業株式会社	災害時における応援協定（航空燃料調達等）	H22. 1. 12
	36	大規模災害時における交通誘導警備業務等に関する協定	一般社団法人岩手県警備業協会	災害時における応援協定（交通誘導警備）	H10. 2. 16
	37	覚書	一般社団法人日本自動車連盟東北本部岩手支部	災害時における応援協定（放置自動車等の道路障害物の除去）	H17. 3. 23
	38	災害時の医療救護に関する協定	一般社団法人岩手県医師会	災害時における応援協定（医療救護）	H1. 4. 20
	39	災害時等における岩手DMATの医療救護活動に関する協定	学校法人岩手医科大学	災害時における応援協定（医療救護）	H21. 5. 28
	40	災害時における医療救護活動に関する協定	一般社団法人岩手県薬剤師会	災害時における応援協定（医療救護）	H23. 3. 11
	41	災害時の歯科医療救護に関する協定書	一般社団法人岩手県歯科医師会	災害時における応援協定（歯科医療救護）	H23. 3. 15
	42	災害時における医薬品等の確保に関する協定	岩手県医薬品卸業協会	災害時における応援協定（医薬品、医療資機材及び防疫用資機材の確保）	H9. 2. 6
	43	災害時における医療資機材の確保に関する協定	岩手県医療機器販売業協会	災害時における応援協定（医療資機材の確保）	H9. 2. 6
	44	災害時における医療用ガス等の確保に関する協定	一般社団法人産業・医療ガス協会東北地域本部医療ガス部門岩手県支部	災害時における応援協定（医療用ガス等の確保）	H23. 3. 11
	45	災害時における災害救助犬の出動に関する協定	特定非営利活動法人災害救助犬ネットワーク	災害時における応援協定（災害救助犬の出動）	H22. 11. 22
	46	災害時における災害救助犬の出動に関する協定	特定非営利活動法人日本レスキュー協会	災害時における応援協定（災害救助犬の出動）	H22. 11. 22
	47	災害時における動物の救護活動に関する協定	一般社団法人岩手県獣医師会、アジリティークラブTEAM・SHINYA、ワンちゃんクラブ、動物いのちの会いわて、岩手県動物愛護ネットワーク、おっぼの会、ぼちの会、MAPフレンズ、わん's倶楽部、わんこの会、盛岡ペットワールド専門学校	災害時における応援協定（動物の救護活動）	H20. 4. 30
	48	大規模事故・災害等の発生時における多数死体の検視及び通常取り扱う身元不明死体等の検視、歯牙検査並びに身元確認に関する覚書	一般社団法人岩手県歯科医師会	災害時における応援協定（大規模事故・災害等の発生時における多数死体の検視及び通常取り扱う身元不明死体等の検視、歯牙検査並びに身元確認）	H21. 11. 28
	49	災害時における棺等葬祭用品の確保に関する協定	岩手県葬祭業協同組合	災害時における応援協定（葬祭用品の確保）	H13. 2. 13
	50	災害時における生活物資の確保等に関する協定	岩手県生活協同組合連合会	災害時における応援協定（生活物資の確保）	H26. 12. 18
	51	災害時における衣料、寝具その他の生活必需品の調達に関する協定	株式会社川徳	災害時における応援協定（生活物資の確保）	H9. 1. 16
	52	災害時における衣料、寝具その他の生活必需品の調達に関する協定	ホームック株式会社	災害時における応援協定（生活物資の確保）	H9. 1. 16
	53	災害時における衣料、寝具その他の生活必需品の調達に関する協定	ジャスコ株式会社東北事業本部	災害時における応援協定（生活物資の確保）	H9. 1. 16
	54	災害時における衣料、寝具その他の生活必需品の調達に関する協定	株式会社イトーヨーカ堂	災害時における応援協定（生活物資の確保）	H9. 1. 29
	55	災害時における物資の調達に関する協定	株式会社ローソン	災害時における応援協定（生活物資の確保）	H20. 6. 23
	56	災害時における物資の調達に関する協定	株式会社ファミリーマート	災害時における応援協定（生活物資の確保）	H20. 9. 30
	57	災害時における物資の調達に関する協定	特定非営利活動法人コメリ災害対策センター	災害時における応援協定（生活物資の確保）	H20. 12. 22
	58	災害時における物資の調達に関する協定	株式会社セブン-イレブン・ジャパン	災害時における応援協定（生活物資の確保）	H21. 11. 13
	59	災害時における救助に関する協定書	岩手県生活衛生同業組合中央会 公益財団法人岩手県生活衛生営業指導センター	災害時における応援協定（生活物資の確保）	H25. 3. 25
	60	災害時におけるプロパンガス及びプロパンガス施設の応急対策用資機材の調達並びに応急対策要員確保の要請に関する協定	一般社団法人岩手県高圧ガス保安協会	災害時における応援協定（プロパンガス及び資機材の調達並びに応急対策要員の確保）	H9. 1. 16
	61	災害時における応急対策用燃料及び応急対策用資機材の調達並びに応急対策要員確保の要請に関する協定書	岩手県石油商業協同組合	災害時における応援協定（燃料の供給）	H19. 10. 11
	62	災害時の重要施設に係る情報共有に関する覚書	石油連盟	災害時における応援協定（燃料の供給）	H25. 6. 24
	63	災害時における木炭の確保に関する協定	一般社団法人岩手県木炭協会	災害時における応援協定（木炭の確保）	H8. 12. 25
	64	災害時における食糧の確保に関する協定	岩手県乾麺工業協同組合	災害時における応援協定（乾麺の確保）	H9. 1. 31
	65	災害時における食糧の確保に関する協定	岩手県生めん協同組合	災害時における応援協定（生めんの確保）	H9. 1. 31
	66	災害時における食糧の確保に関する協定	岩手県パン工業協同組合	災害時における応援協定（パンの確保）	H9. 1. 31

## 資料編

分類	No.	協定の名称	協定の相手方	協定の内容	協定締結年月日
災害時 応援協定	67	災害時における食糧の確保に関する協定	株式会社岩手畜産流通センター	災害時における応援協定（食肉加工品の確保）	H8. 12. 19
	68	災害時における食糧の確保に関する協定	岩手県牛乳協会	災害時における応援協定（牛乳等の確保）	H8. 12. 19
	69	災害時における野菜の確保に関する協定	全国農業協同組合連合会岩手県本部	災害時における応援協定（野菜の確保）	H8. 11. 14
	70	災害時における水産食料品の確保に関する協定	岩手県漁業協同組合連合会	災害時における応援協定（水産食料の確保）	H8. 11. 28
	71	災害時における水産食料品の確保に関する協定	岩手県水産加工業協同組合連合会	災害時における応援協定（水産食料の確保）	H3. 12. 19
	72	災害時における学校給食の実施に係る原材料又はパン、ミルクの調達に関する協定	公益財団法人岩手県学校給食会	災害時における応援協定（原材料、パン・ミルクの確保）	H8. 12. 26
	73	災害時における食料の確保に関する協定	株式会社純情米いわて	災害時における応援協定（精米の供給及び玄米の搗精）	H18. 12. 25
	74	災害時における飲料の確保に関する協定	株式会社岩泉産業開発	災害時における応援協定（飲料の確保）	H19. 1. 25
	75	災害時における飲料の確保に関する協定	サントリーフーズ株式会社	災害時における応援協定（飲料の確保）	H19. 1. 25
	76	災害時における飲料の確保に関する協定	みちのくココロラボトリング株式会社	災害時における応援協定（飲料の確保）	H19. 1. 25
	77	災害時における稲の種苗の確保に関する協定	全国農業協同組合連合会岩手県本部	災害時における応援協定（稲の種苗の確保）	H8. 11. 11
	78	災害時における蚕種・桑苗の確保に関する協定	全国農業協同組合連合会岩手県本部	災害時における応援協定（蚕種・桑苗の確保）	H8. 11. 11
	79	災害時における肥料及び病害虫防除用資機材の調達に関する協定	全国農業協同組合連合会岩手県本部	災害時における応援協定（肥料及び病害虫防除用資機材の確保）	H8. 11. 11
	80	災害時における家畜飼料等の確保に関する協定	全国農業協同組合連合会岩手県本部	災害時における応援協定（家畜飼料等の確保）	H8. 11. 11
	81	災害時における動物用医薬品等の確保に関する協定	岩手県動物薬品器材協会	災害時における応援協定（動物用医薬品等の確保）	H8. 11. 12
	82	家畜防疫業務に関する協定	岩手県農業共済組合連合会	災害時における応援協定（家畜防疫業務への協力）	H24. 2. 8
	83	家畜防疫業務における液化炭酸ガス及び関連資機材の調達に関する協定	一般社団法人岩手県高圧ガス保安協会	災害時における応援協定（家畜防疫業務への資機材等の調達）	H27. 11. 2
	84	家畜伝染病における緊急対策業務に関する協定	一般社団法人岩手県建設業協会	災害時における応援協定（伝染病家畜処理）	H19. 4. 4
	85	災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定	一般社団法人ブレハブ建築協会	災害時における応援協定（住宅建設）	H7. 11. 13
	86	災害時における民間賃貸住宅の媒介等に関する協定	公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部	災害時における応援協定（民間賃貸住宅媒介）	H22. 3. 16
	87	災害時における民間賃貸住宅の媒介等に関する協定	一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会	災害時における応援協定（民間賃貸住宅媒介）	H22. 3. 16
	88	災害時における民間賃貸住宅の情報提供に関する協定	公益社団法人全国賃貸住宅経営者協会連合会	災害時における応援協定（民間賃貸住宅媒介）	H25. 7. 1
	89	災害時における民間賃貸住宅の被災者への提供に関する協定	一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会 公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部	災害時における応援協定（民間賃貸住宅提供）	H26. 9. 3
	90	災害時における木材の確保に関する協定	岩手県森林組合連合会	災害時における応援協定（木材の確保）	H8. 12. 25
	91	災害時における木材の確保に関する協定	岩手県木材産業協同組合	災害時における応援協定（木材の確保）	H8. 12. 18
	92	災害時における廃棄物の処理に関する協定	一般社団法人岩手県産業廃棄物協会	災害時における応援協定（廃棄物の処理）	H26. 10. 27
	93	災害時におけるし尿及び浄化槽汚泥等の処理に関する協定	岩手県環境整備事業協同組合	災害時における応援協定（し尿の処理）	H18. 10. 12
	94	災害時における漁港・漁場の応急対策業務に関する協定	一般社団法人全日本漁港建設協会岩手県支部	災害時における応援協定（漁港・漁場関係公共土木施設等の応急対策業務の実施）	H25. 4. 15
	95	災害時における応急対策業務に関する協定	一般社団法人岩手県建設業協会	災害時における応援協定（被災情報の収集・報告、障害物除去用等の重機資機材等の調達、応急復旧工事）	H9. 1. 10
	96	災害時における応急対策業務に関する協定	一般社団法人岩手県建設コンサルタント協会	災害時における応援協定（詳細な被災情報の収集及び連絡ほか）	H21. 6. 29
	97	災害時における応急対策業務に関する協定	一般社団法人岩手県電業協会	災害時における応援協定（詳細な被災情報の収集及び連絡、応急復旧工事の実施）	H21. 7. 9
	98	災害時における応急対策業務に関する協定	一般社団法人岩手県測量設計業協会	災害時における応援協定（公共土木施設等の応急対策に対する協力）	H20. 5. 19
	99	災害時における応急対策業務に関する協定	一般社団法人日本建設業連合会東北支部	災害時における応援協定（工事中の施設の復旧）	H19. 2. 19
	100	災害時における岩手県内の下水道管路施設の復旧支援に関する協定	公益社団法人日本下水道管路管理業協会	災害時における応援協定（災害時における下水道管路施設の復旧活動）	H26. 3. 28
101	災害時における県営発電施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定	株式会社東芝	災害時における応援協定（県営発電施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 3. 31	
102	災害時における県営発電施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定	日立三菱水力株式会社	災害時における応援協定（県営発電施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 3. 31	

## 資料編

分類	No.	協定の名称	協定の相手方	協定の内容	協定締結年月日
災害時 応援協定	103	災害時における県営発電施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定	株式会社明電舎	災害時における応援協定（県営発電施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H8. 11. 18
	104	災害時における県営発電施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定	シンフォニアテクノロジー株式会社	災害時における応援協定（県営発電施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 3. 31
	105	災害時における県営発電施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定	株式会社日立プラントメカニクス	災害時における応援協定（県営発電施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 3. 31
	106	災害時における県営発電施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定	富士電機株式会社	災害時における応援協定（県営発電施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 3. 31
	107	災害時における県営発電施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定	日本ケーブル株式会社	災害時における応援協定（県営発電施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 3. 31
	108	災害時における県営発電施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定	北芝電機株式会社	災害時における応援協定（県営発電施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 3. 31
	109	災害時における県営発電施設の応急対策業務に関する協定	一般社団法人岩手県建設業協会	災害時における応援協定（県営発電施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 4. 1
	110	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定 ※北上中部	株式会社タカヤ	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H8. 11. 18
	111	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定 ※北上中部以外	株式会社タカヤ	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 3. 31
	112	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定	株式会社日立製作所	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H8. 11. 18
	113	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定	株式会社電業社機械製作所東北支店	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H8. 11. 18
	114	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定	株式会社東芝	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 3. 31
	115	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定	株式会社明電舎	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 3. 31
	116	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定	オルガノ株式会社 オルガノプラントサービス株式会社	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 3. 31
	117	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定	日立造船株式会社	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 6. 19
	118	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定 ※北上中部	日本碍子株式会社	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H8. 11. 18
	119	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定 ※北上中部以外	メタウォーター株式会社	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 3. 31
	120	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定 ※北上中部	株式会社荏原製作所	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H8. 11. 18
	121	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定 ※北上中部以外	株式会社荏原製作所	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 3. 31
	122	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定	北上鐵工株式会社	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 3. 31
	123	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定	株式会社小原建設	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 3. 31
	124	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定 ※北上中部	有限会社アセス	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H12. 3. 10
	125	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定 ※北上中部以外	有限会社アセス	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 3. 31
	126	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定 ※北上中部	株式会社北日本環境保全	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H12. 3. 10
	127	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定 ※北上中部以外	株式会社北日本環境保全	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 3. 31
	128	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定 ※北上中部	株式会社水質研究所	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H17. 8. 8
	129	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定 ※北上中部以外	株式会社水質研究所	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 3. 31



## 資料編

分類	No.	協定の名称	協定の相手方	協定の内容	協定締結年月日
災害時 応援協定	130	災害時における県営工業用水道施設の応急対策用資機材の調達及び復旧要員の確保に関する協定	東北計測サービス株式会社	災害時における応援協定（県営工業用水道施設の応急対策用資機材及び復旧要員の確保）	H26. 3. 31
	131	災害時における水道施設の復旧活動に係る応急対策に関する協定	一般社団法人岩手県空調衛生工事業協会	災害時における応援協定（水道施設の復旧活動）	H11. 2. 12
	132	災害時における水道施設の復旧活動に係る応急対策に関する協定	岩手県管工事業協同組合連合会	災害時における応援協定（水道施設の復旧活動）	H22. 8. 6
	133	災害時における建築物の清掃及び消毒等環境衛生に関する協定	岩手県ビル管理事業協同組合	災害時における応援協定（災害時における建築物の清掃及び消毒等環境衛生に関する協定）	H21. 10. 26
	134	隊友会との災害時応援協定	公益社団法人隊友会岩手県隊友会	災害時における応援協定（大規模災害時の各種救護活動への協力）	H25. 4. 8
	135	災害時の情報システムの応急復旧に関する協定書	株式会社アイシーエス	災害時における応援協定（情報システムの応急復旧）	H25. 3. 28
	136	災害時における応急対策業務に関する協定	一般社団法人プレストレス・コンクリート建設業協会東北支部	災害時における応援協定（プレストレス・コンクリート構造物の被災情報の収集及び連絡）	H28. 3. 28
	137	災害査定業務等に関する協定	岩手県土地改良設計協会	災害時における支援協定（農地・農業用施設災害）	H15. 4. 18
	138	家畜伝染病発生時等における消毒業務に関する協定書	一般社団法人岩手県ペストコントロール協会	災害時における応援協定（家畜防疫業務に係る車両消毒業務）	H29. 3. 30

**岩手県総務部人事課**

〒020-8570 盛岡市内丸 10-1  
TEL019-629-5186 FAX019-629-5074  
<http://www.pref.iwate.jp/>